

統合システム運用管理

HITACHI
Inspire the Next

未来へ進むなら

JP1

JP1

JP1 Cloud Service
IT運用最適化サービス



オンプレミス・マルチクラウド・ハイブリッド 高度化する運用管理の最適解



CONTENTS



JP1

- オブザーバビリティ 統合管理 JP1/Integrated Management 3
- オブザーバビリティ ネットワーク管理 JP1/Network Node Manager i、JP1/SNMP System Observer
- オートメーション ジョブ管理 JP1/Automatic Job Management System 3
- オートメーション クライアント業務自動化 JP1/Client Process Automation
- オートメーション 運用自動化 JP1/Automatic Operation
- バックアップ バックアップ管理 JP1/VERITAS NetBackup
- エンドポイント管理 IT資産・配布管理 JP1/IT Desktop Management 2
- セキュリティ セキュリティ管理・情報漏えい防止 JP1/秘文

JP1 Cloud Service

- 運用統合 運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration
- オートメーション ジョブ管理 JP1 Cloud Service/Job Management
- オートメーション ジョブ分析 JP1 Cloud Service/Job Analysis
- オブザーバビリティ システム管理 JP1 Cloud Service/System Management
- 通報 通報管理 JP1 Cloud Service/Notification Management
- エンドポイント管理 エンドポイント管理 JP1 Cloud Service/EndPoint Management

IT運用最適化サービス

- デジタルワークフロー ServiceNow

製品・サービス一覧

JP1

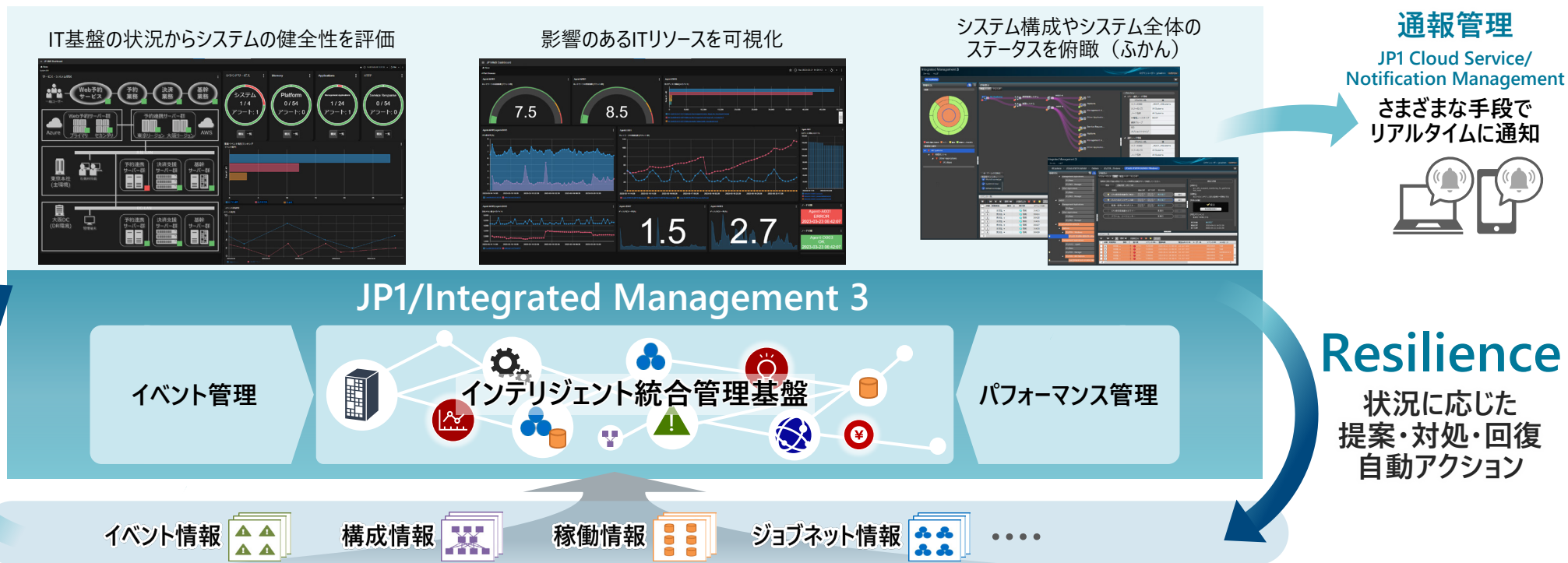
オンプレミスからクラウドまで複雑化・多様化するITシステムを統合管理します。
IT運用の標準化・自動化による効率的な運用の実現によって、
人材不足や属人化といった問題の解消を後押しし、
ビジネスの競争力の向上に貢献します。

- ✓ 長年の製品開発で培った確かな品質
- ✓ さまざまなプラットフォームや環境に適用可能
- ✓ 10年間保証で、充実のサポートサービス
- ✓ JP1のプロフェッショナルがお客さまをサポート
- ✓ MADE IN JAPANの品質と安心を世界へ



複雑なシステムの監視・関連性の統合管理により、オブザーバビリティを実現 利用者に応じた情報提供により、的確な状況把握・迅速な障害対応を支援

- オンプレミス、クラウド、ハイブリッド環境のシステムを監視し、収集データの関連付け、統合管理・可視化により、オブザーバビリティを実現
- 利用者に応じた情報の可視化により、システムの健全性の把握、ビジネスやサービスへの影響の把握や障害発生時の迅速な対応を支援



オンプレミス/プライベートクラウド 	Amazon Web Services EC2, Lambda, S3, DynamoDB, Step Functions, SQS, etc.	Microsoft Azure Virtual Machines, Azure Functions, Blob Storage, Queue Storage, etc.	Google Cloud GCE, Cloud Functions, GCS, Cloud Pub/Sub, etc.	コンテナ Docker, Open Shift, Kubernetes	SaaS/Webサービス 	アプリケーション OracleDB, SAP
------------------------------	--	--	---	---	-------------------------	----------------------------------

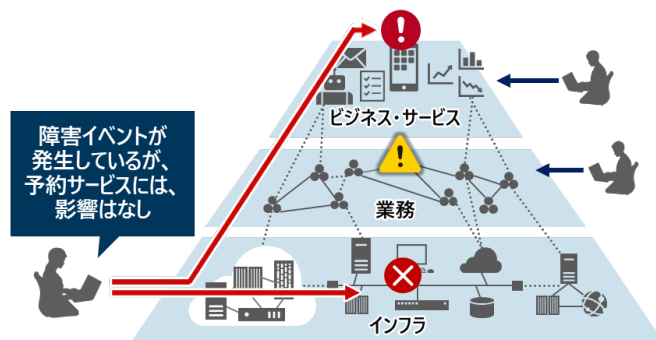
EC2: Amazon Elastic Compute Cloud Lambda: AWS Lambda S3: Amazon Simple Storage Service DynamoDB: Amazon DynamoDB
 Step Functions: AWS Step Functions SQS: Amazon Simple Queue Service GCE: Google Compute Engine GCS: Google Cloud Storage

業務インパクトの把握

ビジネスやサービスへの影響を把握できていますか？

URLやICMPでの外形監視の状況、重要イベントの発生やITインフラの稼働状況など収集したデータの関連性も含めてわかりやすく表示。

障害発生時にどのビジネスやサービスに影響があるかをひと目で判断できます。



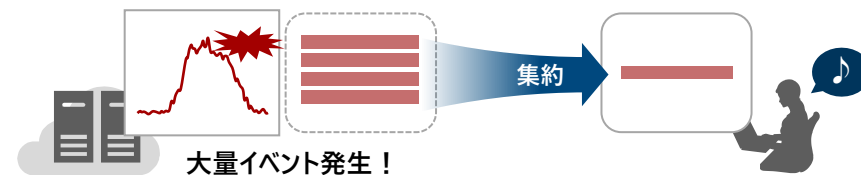
ICMP: Internet Control Message Protocol

重要イベントの見逃し防止

大量のイベントが発生して困っていませんか？

大量イベントの発生を検知した場合は、ホスト名やログファイルなどの単位で自動的に集約して画面に表示。また、メール通知などの自動アクションが何度も実行されないように抑止。

予期しない大量イベントが発生しても、監視運用全体への影響を最小限に抑えられます。



複雑なシステムをもれなく監視・可視化

複雑なシステムで問題の発生箇所や原因を特定するのは大変ではありませんか？

オンプレミス、クラウドやハイブリッド環境など、複雑なシステム全体をもれなく監視し、収集したデータを関連付けて可視化。

管理者それぞれに必要な視点で可視化できるため、問題の発生箇所や発生の原因を迅速に把握できます。

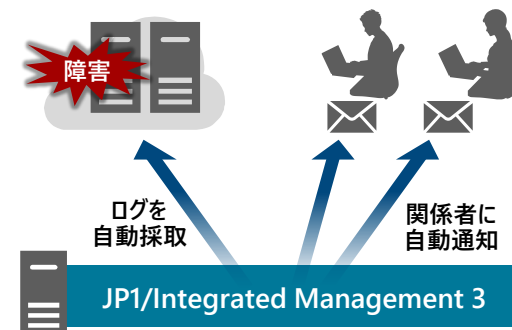


問題への迅速な対処

システムの障害発生時、初動対応を迅速にできていますか？

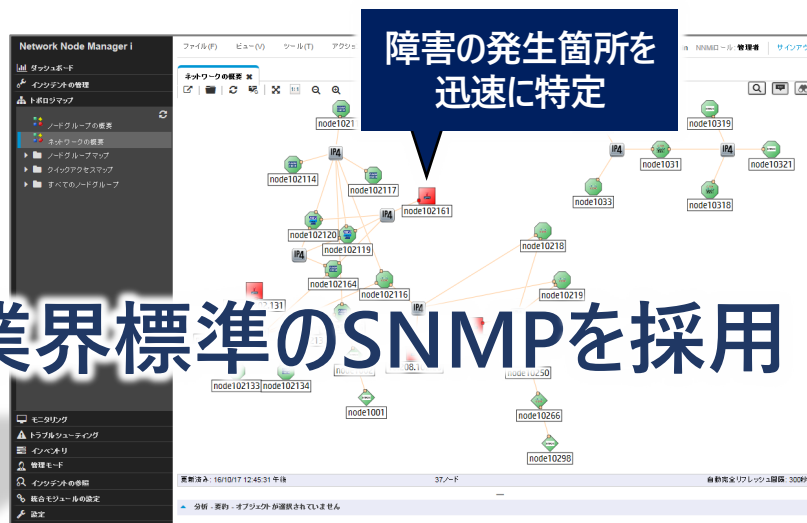
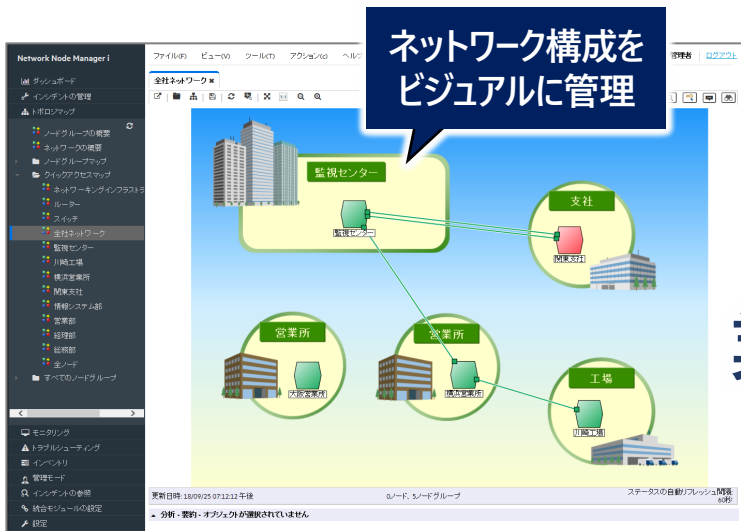
発生したイベントに応じて、ログ採取や関係者への通知などの適切な初動を自動実行。

迅速で確実な初動対応で、障害発生時の調査や対策をスムーズに実施できます。

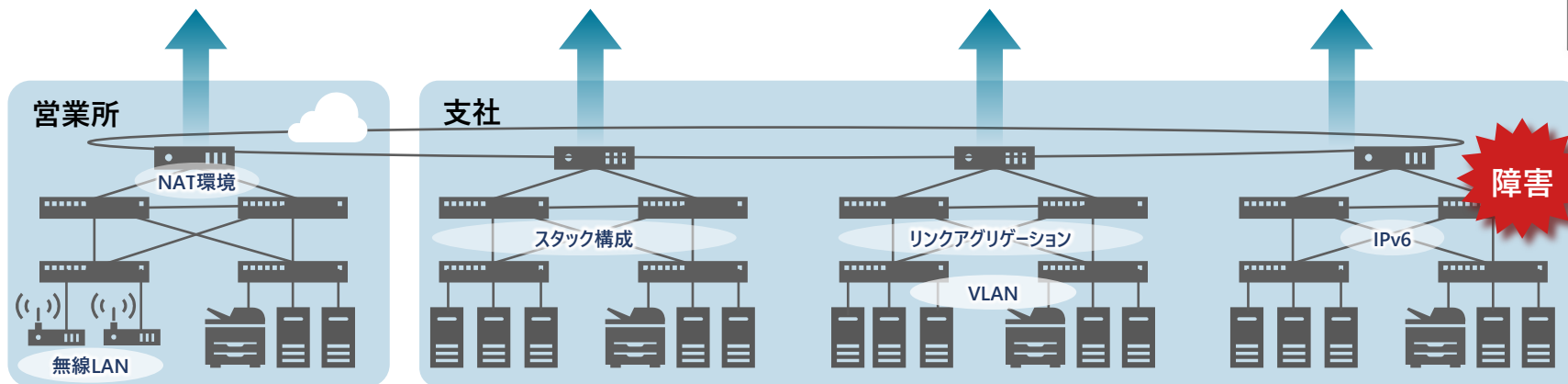
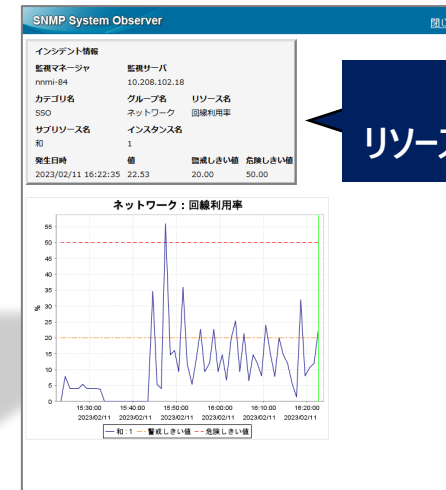


ネットワークの集中管理と迅速な障害対応を実現する

- 仮想化や冗長化などを含め、進化・多様化するネットワーク環境の全体構成をビジュアルなマップで一元管理
- 迅速な障害対応を実現し、ビジネスインフラを担うネットワークの安定稼働を支援



業界標準のSNMPを採用



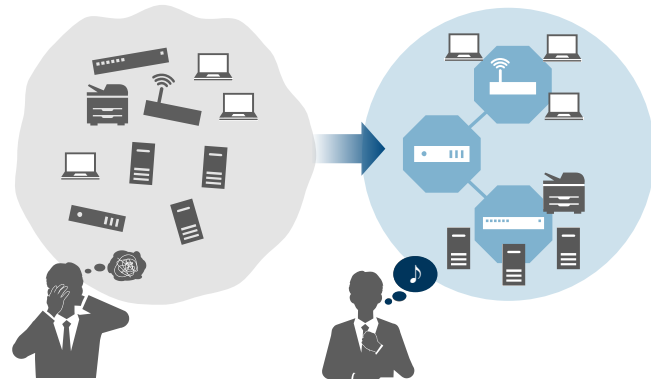
ネットワーク監視
マネージャー

VLAN: Virtual Local Area Network
 NAT: Network Address Translation
 IPv6: Internet Protocol Version 6

ネットワーク構成・状態の自動収集

ネットワーク構成変更の把握に時間がかかっていませんか？

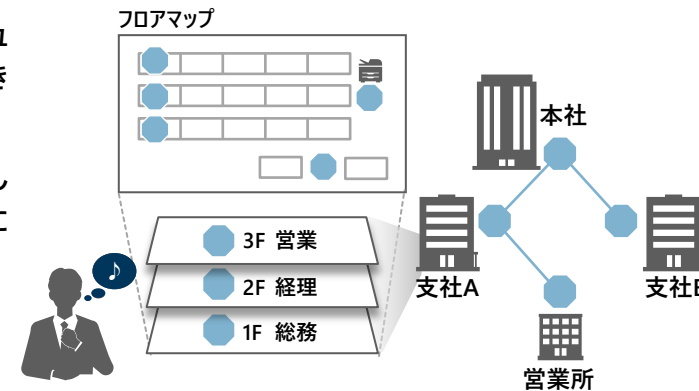
- ネットワーク上のノードを自動で検出し、ネットワーク構成・状態を把握できます。
- 頻繁に構成変更が発生しても、自社の監視ポリシーに従って適切な監視を維持できます。



ネットワーク構成のビジュアル化

複雑化・大規模化するネットワークの管理に困っていませんか？

- ネットワークノードの構成や状態をビジュアルなトポロジマップで容易に把握できます。
- フロアマップや写真・地図などを利用して、物理的な配置や構成を視覚的にわかりやすく管理できます。

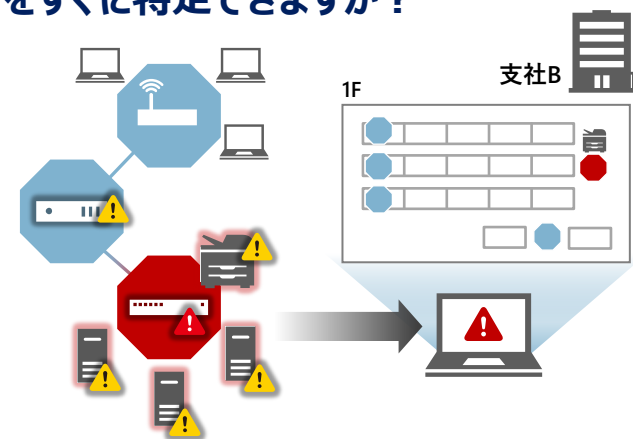


根本原因解析 (RCA)

ネットワーク障害の発生箇所をすぐに特定できますか？

- 障害の根本原因だけをインシデントとして絞り込めます。
- 障害が発生しているネットワーク機器がどこに設置されていて、どこに影響があるか、速やかに特定できます。

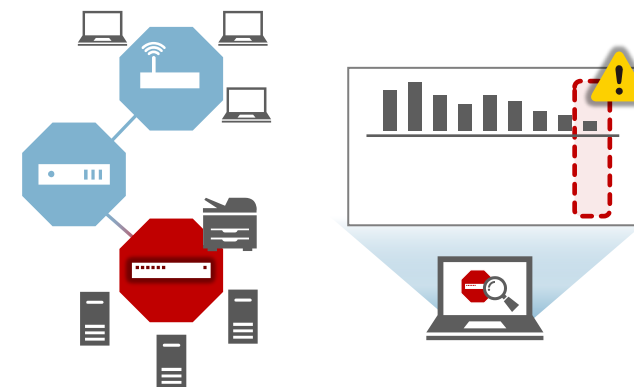
RCA: Root Cause Analysis



ネットワークリソース管理

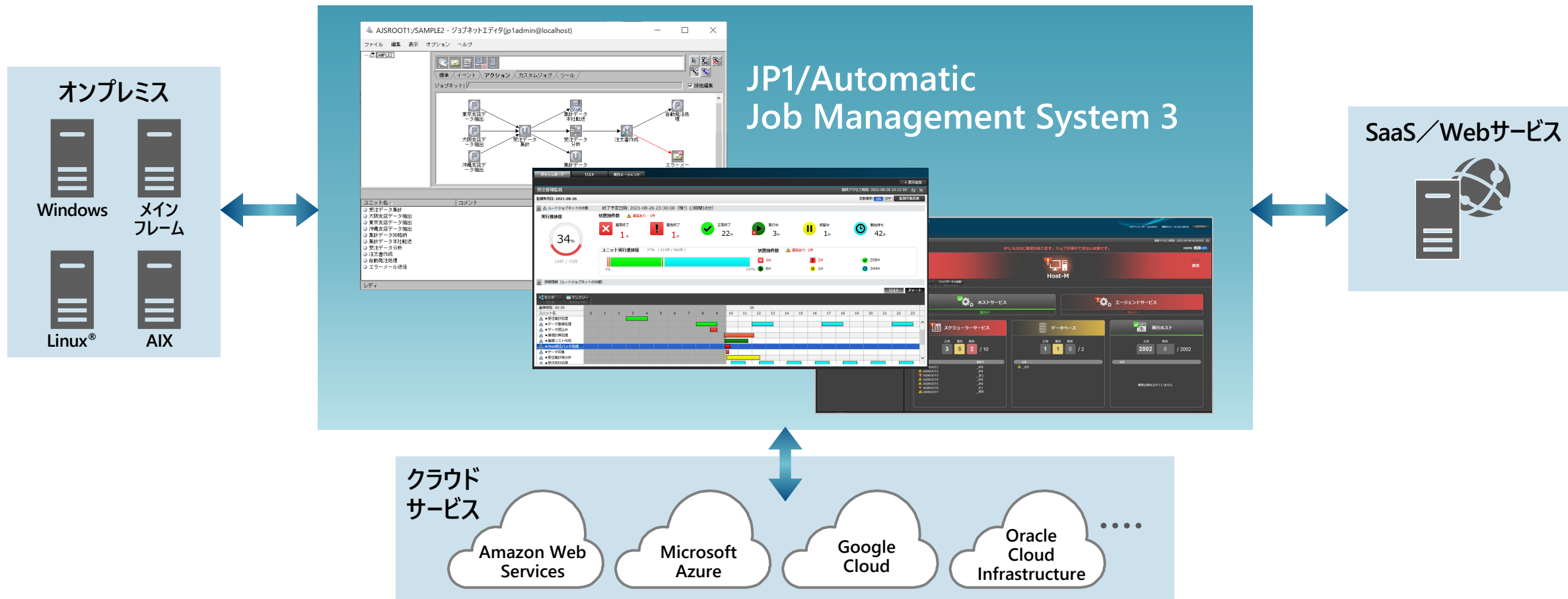
障害の原因究明に時間がかかっていませんか？

- ネットワーク機器のリソース情報を、トポロジマップから迅速に確認できます。
- ネットワークリソースの利用状況の推移をグラフ表示して、障害の予兆を把握できます。



業務フローの開発・実行を効率化・省力化し、さまざまな環境における業務システムの自動運用と安定稼働を実現

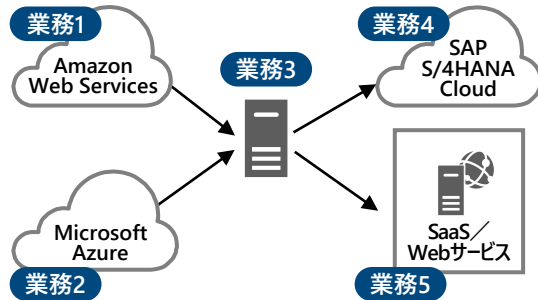
- 各種クラウドサービスと連携した業務や実行条件が複雑な業務の自動化も、ローコード開発で効率化
- 自動化した業務の状況をリアルタイムで視覚的に表示、問題の迅速な把握・対処を支援



各種クラウドサービスとの容易な業務連携

オンプレミスとクラウドで、
実行する業務が分断されて困っていませんか？

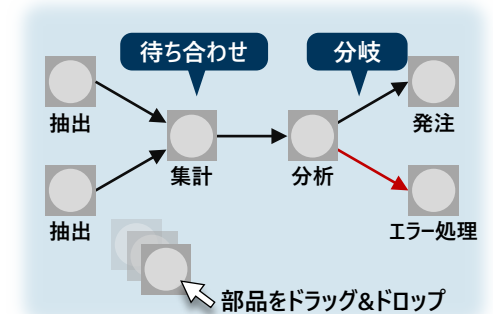
オンプレミスで実行する業務や、Amazon Web ServicesやMicrosoft Azureなどのクラウドサービス、SaaSなどで実行するサーバレス業務を容易に連携して自動実行できます。



複雑な業務フローのローコード開発

業務フローの開発に
多くの時間と労力を費やしていませんか？

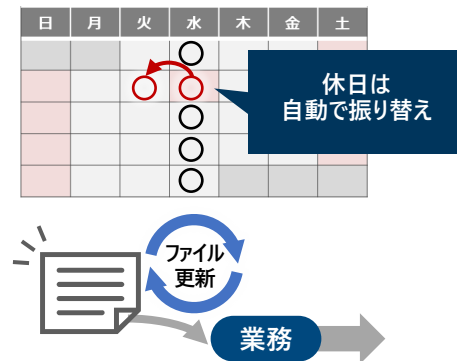
- 業務自動化のフロー開発に必要な、標準的な機能を部品として提供。自動化したい業務をGUIで定義できます。
- 複数の処理が終了するのを待ち合わせて次の処理を開始したり、処理結果によって次に行う処理を切り替えたりするなど、実行条件が複雑な業務フローもローコードで開発できます。



業務に応じたきめ細かいスケジューリング

業務を独自のタイミングで実行できなくて
困っていませんか？

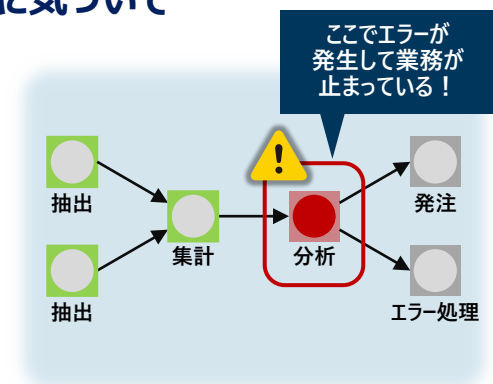
- 月次、週次、特定日、休業日振り替えなど、拠点ごとのカレンダーや業務のスケジュールに合わせて実行を制御できます。
- 繰り返し実行する、ファイルが更新されたら実行するなど、指定された契機で業務を自動的に実行できます。



業務の進捗や実行状況の監視

自動化した業務の実行エラーにすぐに気づいて
対処できますか？

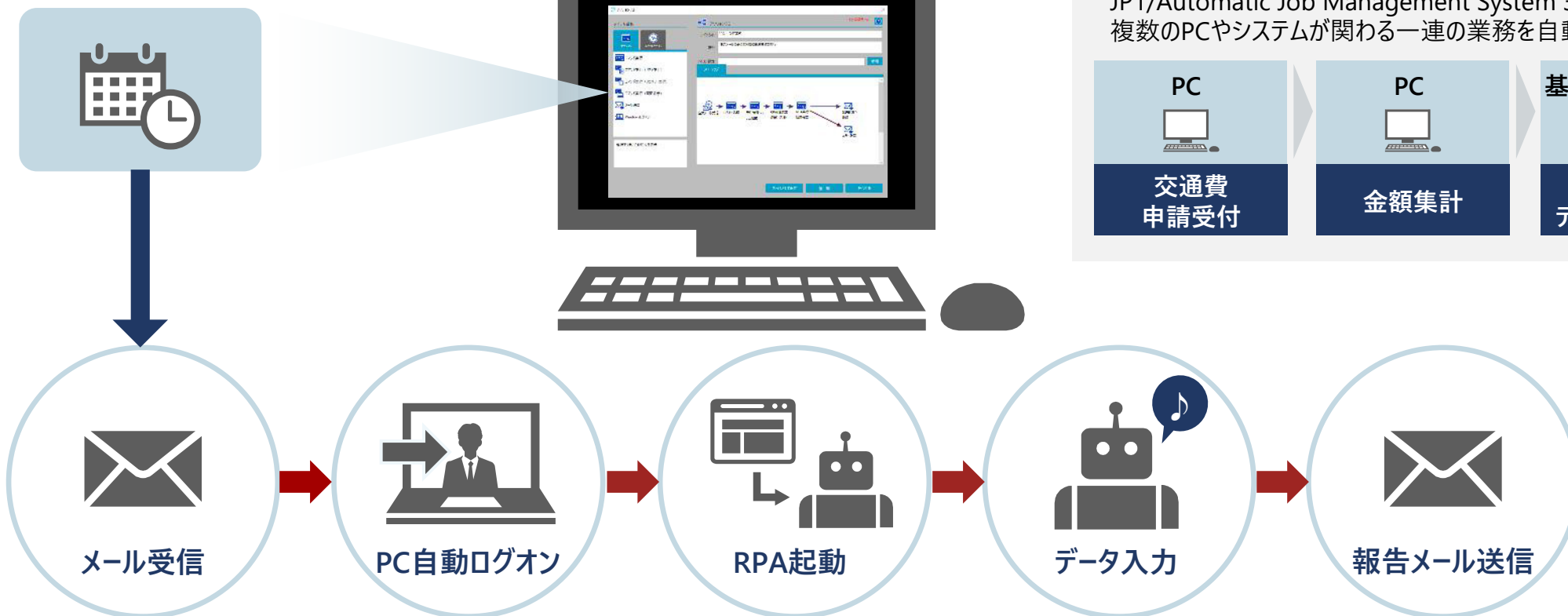
- 業務全体の進捗度、正常終了や異常終了、遅延など状態別の実行件数、業務ごとの実行状況を確認できます。
- どこで問題が発生しているかを容易に特定でき、対象業務の再実行・保留などの対処をスムーズに行えます。



RPAの利用も含めた一連の業務プロセスを自動化

- RPA製品が実行する業務を含め、PCで行う定型業務の実行スケジュールや実行順序を制御
- PCで行う業務と基幹業務を連携することで、業務システム全体の統合と自動化を実現

実行スケジュール・順序を制御



PCで行う業務と基幹業務を連携して自動化

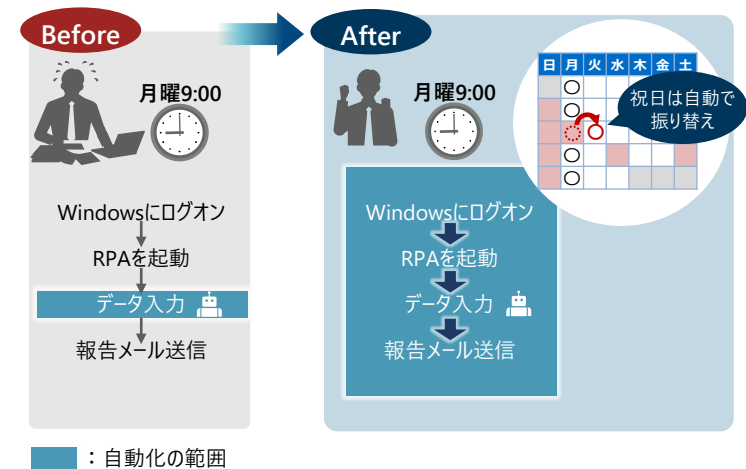
JP1/Automatic Job Management System 3と連携すると、複数のPCやシステムが関わる一連の業務を自動化できます。



PCで行う定型業務の自動化

RPAで自動化した作業も含めて業務全体を自動で行えるといいと思いませんか？

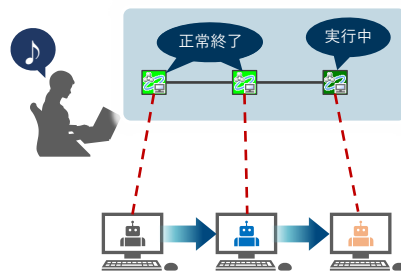
- RPA製品で行う作業の前処理や後処理（手作業のデータ集計、メールやファイルの送受信など）も合わせて、PCで行う定型業務を、一連の業務として自動化できます。
- 営業日や休業日に合わせたり、翌営業日に振り替えて実行するなどの柔軟なスケジュールでの自動化も可能です。
- 「Windowsに自動ログオンしてからRPAを起動する」といった順序の制御が可能のため、RPA製品で行う作業を含めて業務全体を確実に実行できます。



複数RPAの実行管理*

複数のRPA製品を導入したことで、運用が大変になっていませんか？

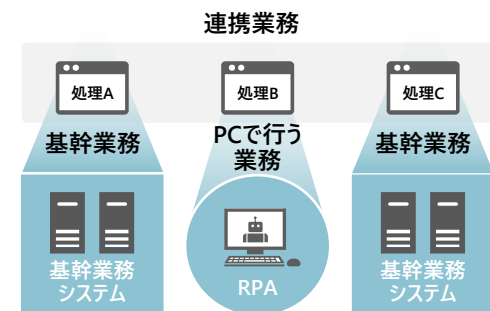
- 複数のRPA製品で連携して行う作業でも、実行順序を確実に制御できます。
- RPA製品ごとのスケジュール設定や実行状況の監視を、統一したインターフェースで行えるため、業務の管理が容易になります。



基幹業務を含めた業務全体の統合と自動化*

PCで行う業務と基幹業務が分かれていて、手間や時間がかかっていませんか？

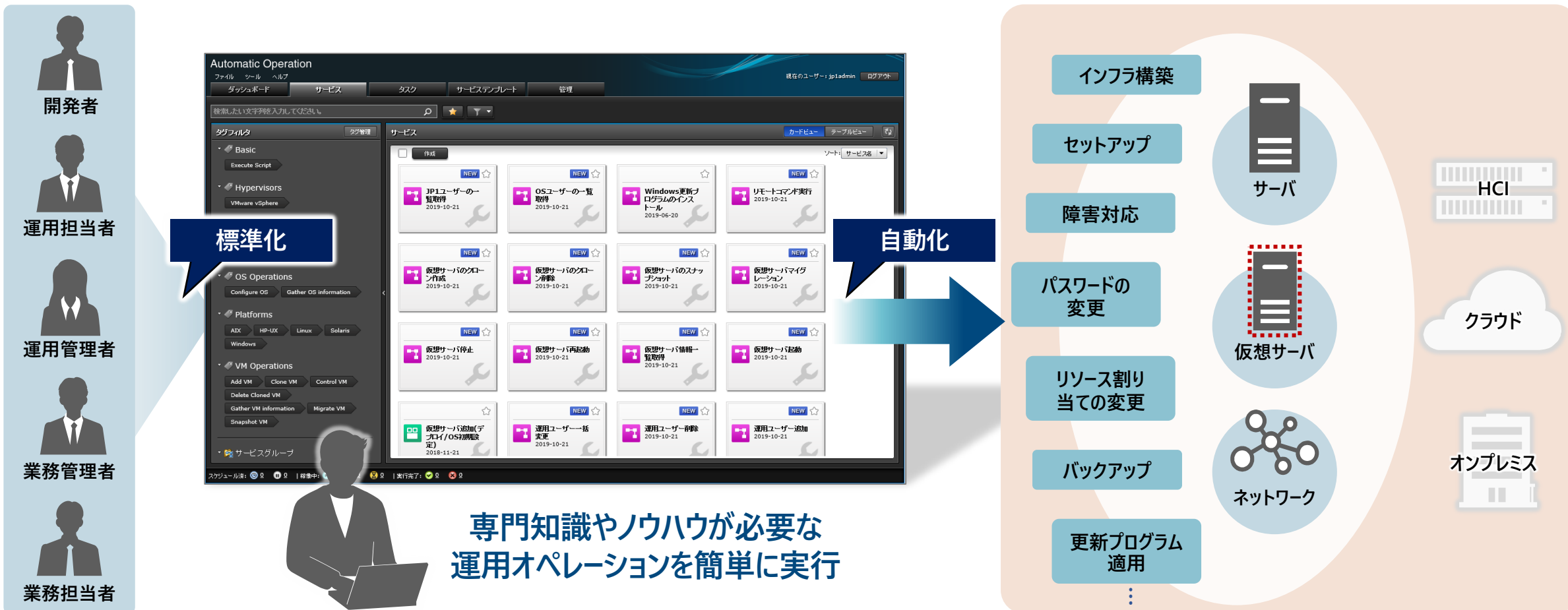
PCで行う定型業務と基幹業務をつなぎ、一連の処理としてシームレスに、実行順序の制御や自動化ができるため、基幹業務を含めた業務全体を効率化できます。



* JP1/Automatic Job Management System 3との連携が必要です。

日々のIT運用を自動化し、オペレーションミスの防止や効率向上につなげる

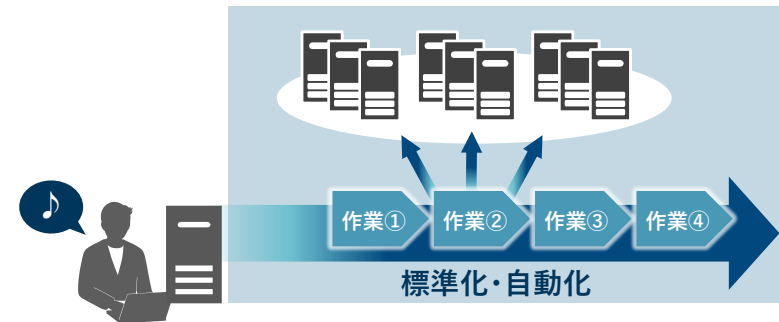
- OS、仮想環境などの操作対象において、複雑な作業や時間を要する日々の運用オペレーションを標準化・自動化
- 専門知識やノウハウの有無に関わらず運用作業を実施できるようにすることで、効率向上と品質向上を実現



IT運用オペレーションの標準化・自動化

IT運用の負荷軽減やオペレーションの品質確保が難しいと感じていませんか？

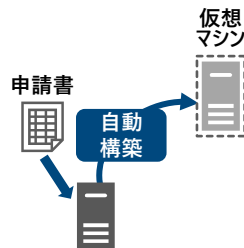
- 日々のIT運用の単純作業から、単純でも繰り返しが多く時間を要する作業、不定期に発生する複雑な作業まで、さまざまなIT運用業務を自動化できます。
- 日立の運用ノウハウを盛り込んだ信頼性の高いサービステンプレートを利用することで、簡単な設定だけで標準的な運用操作を自動化できます。
- 専門知識やノウハウが必要なIT運用を自動化することで、担当者の経験やスキルに左右されない高品質で効率的なIT運用を実現できます。



仮想環境の運用自動化

仮想環境の運用作業に時間がかかっていませんか？

仮想マシンの作成や運用に関わる一連の作業（ソフトウェアのインストール・設定など）を自動化することで、作業のスピードアップと、仮想環境の運用負荷を軽減できます。



更新プログラムやパッチの適用自動化

更新プログラムやパッチ適用のためのメンテナンスに長時間かかっていませんか？

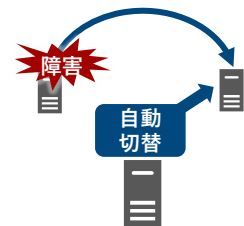
更新プログラム適用やその前後に発生する一連の作業を自動化し、複数のサーバや、仮想マシンへの更新プログラム適用を漏れなく一括で行うことで、メンテナンス時間を短縮できます。



障害一次対応の自動化

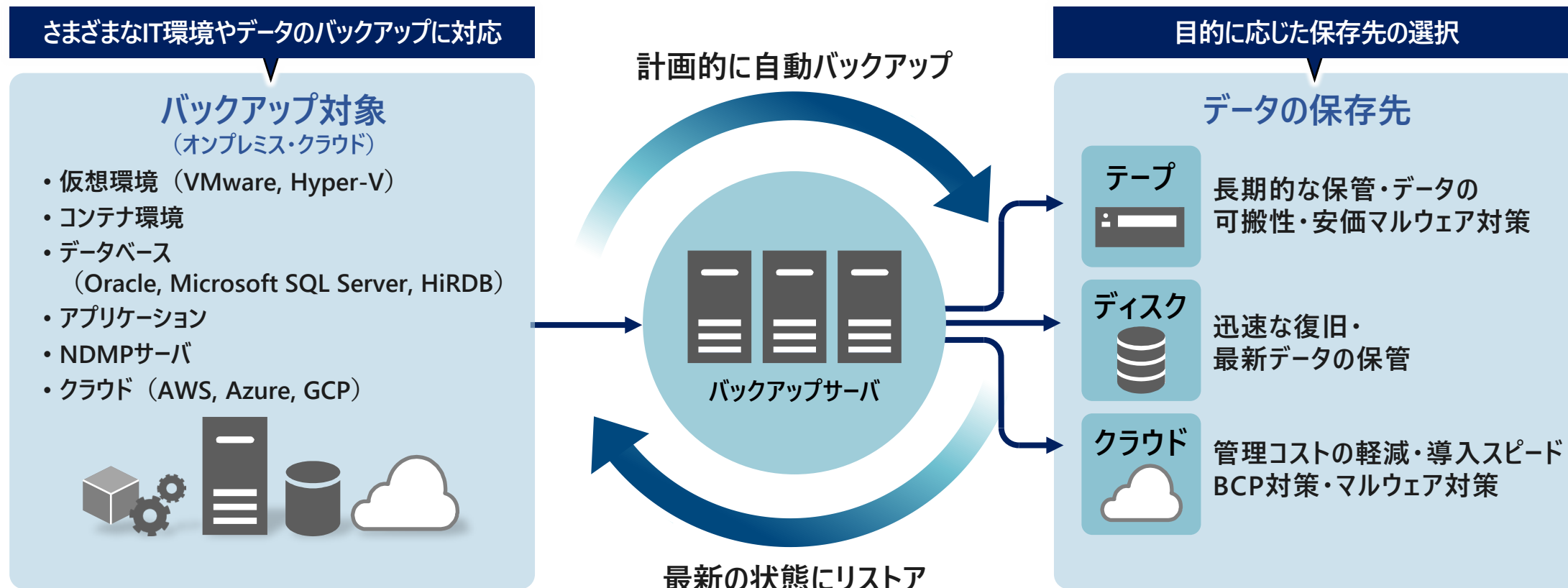
障害発生時に迅速・確実な対応ができますか？

「システム障害や災害発生時のシステム復旧」など、迅速かつ的確に行うことが要求される作業を自動化することで、対応者の経験やスキルに依存することなく、効率よく対応できます。



多様化するシステムを統合的にバックアップし、データを守る、ビジネスを守る

- マルチプラットフォーム環境、クラウド環境、仮想環境、データベース、アプリケーションなど、幅広い範囲をカバー
- 迅速・適切なバックアップとリカバリーで、データ損失のリスクを低減し、ビジネスの継続を支援

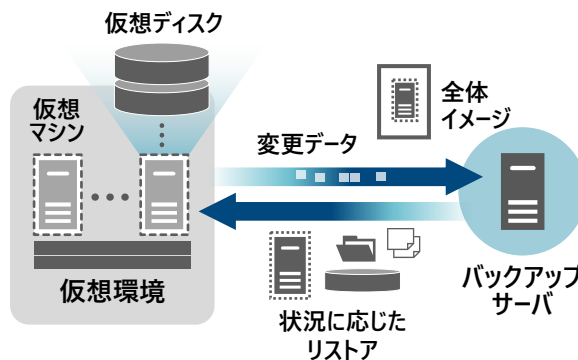


AWS: Amazon Web Services
Azure: Microsoft Azure
GCP: Google Cloud

VADP連携バックアップ VADP: vStorage APIs for Data Protection

仮想環境のバックアップに困っていませんか？

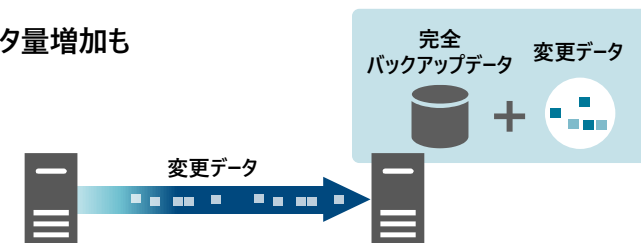
- 複数の仮想ディスクで構成される仮想マシンの自動バックアップやスナップショットバックアップが可能です。
- 仮想マシン全体・仮想ディスク・フォルダ・ファイル単位など、状況に応じて柔軟にリストアできます。



バックアップデータの重複排除

データ量増加でバックアップに時間がかかっていませんか？

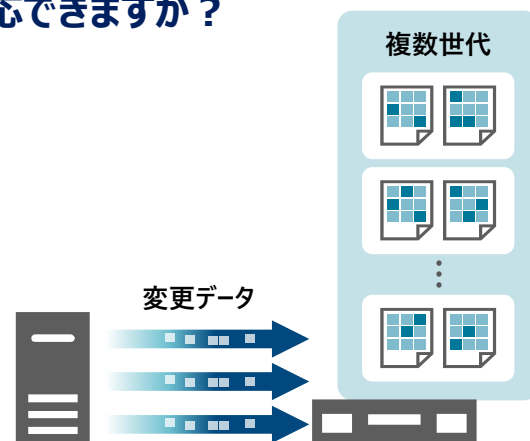
- データの変更があったブロックだけをバックアップすることで、バックアップ時間を短縮できます。
- 保管するバックアップデータのデータ量増加も抑制できます。



バックアップの世代管理

マルウェア感染後のリカバリーに対応できますか？

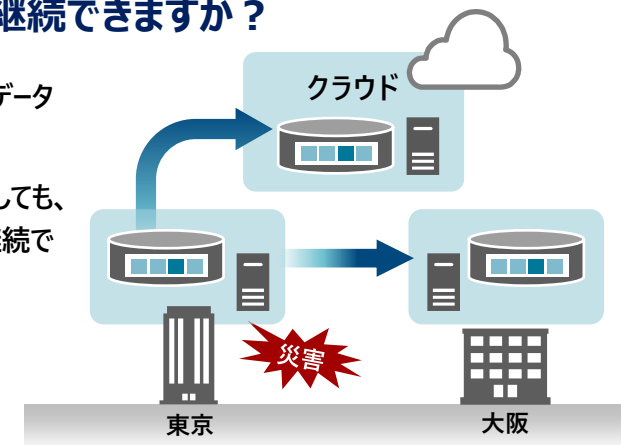
- データ量を抑えた複数世代の完全バックアップデータ保管が可能です。
- 複数世代のバックアップデータを一定期間保管する運用で、感染前の状態へのリカバリーを実現できます。



バックアップデータの遠隔地保管

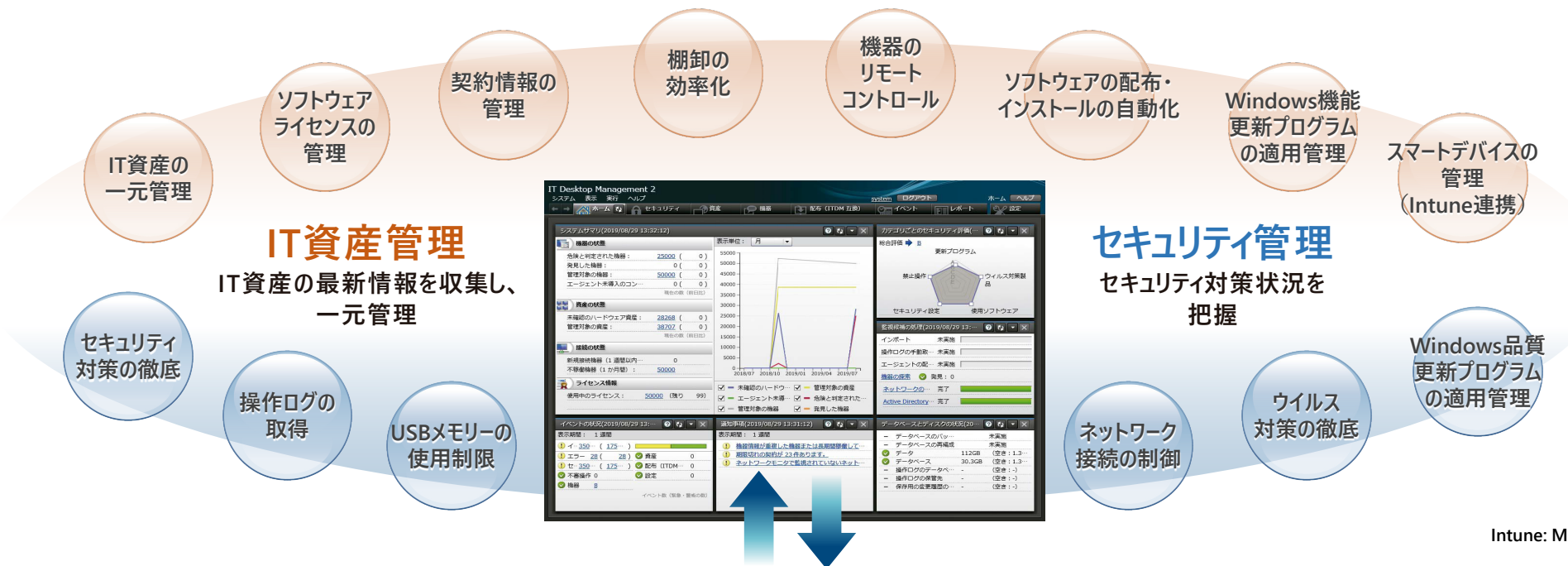
災害が発生してもビジネスを継続できますか？

- 複数の場所にスピーディーにバックアップデータを保管できます。
- 災害でメインサイトのデータが破損・損失しても、リモートサイトに切り替えて、ビジネスを継続できます。



多様化するIT資産を適切に管理し、セキュリティリスクから守る

- 手間をかけずに正確かつ適切な管理でIT資産を有効活用
- タイムリーな情報収集と対策でエンドポイントのセキュリティ管理を支援



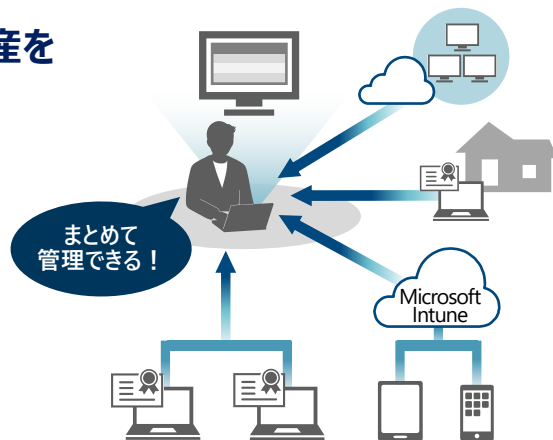
Intune: Microsoft Intune



エンドポイントのIT資産管理

増加・分散するエンドポイントの資産を適切に管理できていますか？

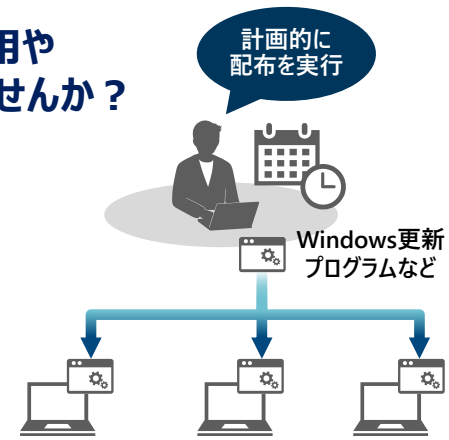
- IT資産情報を自動収集し、IT資産の棚卸やライセンス管理を効率化できます。
- Microsoft Intuneと連携することで、スマートデバイスの情報をPCやサーバなどの情報と一緒に管理できます。



計画的な自動配布・自動インストール

多数のエンドポイントへのOSパッチ適用やプログラム更新作業が大変ではありませんか？

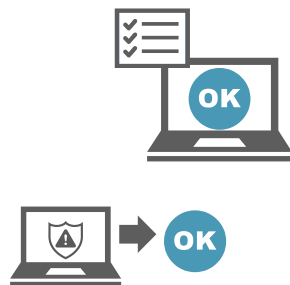
- ネットワークに負荷をかけずに、大容量のデータを多数のエンドポイントに対して計画的に配布できます。
- ソフトウェアやプログラムを指定した日時に一斉適用できます。



セキュリティリスク診断・自動対策

エンドポイントのセキュリティ対策に不安はありませんか？

- 多数のエンドポイントのセキュリティリスクを自動で診断できます。
- セキュリティリスクがあるエンドポイントに対して自動対処が可能です。



利用証跡（操作ログ）の取得

不正アクセス・情報漏えいリスクに備えていますか？

- ファイルを持ち出そうとする操作を検知して管理者に通知できます。
- 使用を許可したUSBメモリーに保存したファイル名から、どんな情報を持ち出したのかを確認できます。



リモート操作

リモートでのメンテナンスやヘルプデスク対応に困っていませんか？

- リモートのエンドポイントに接続して操作ができます。
- 接続先のエンドポイントに必要なファイルやデータを送受信して、スムーズに対応できます。



情報漏えいを未然に防ぎ会社の大切な情報を守る

- さまざまな情報漏えいリスクを見据えた着実なセキュリティ対策を実現
- 業務で起こりうる過失的な情報漏えいのリスクも低減

情報の不正な持ち出しや、人的ミスによる情報漏えいを未然に防ぎ、
安全な方法で情報を利用できます

出さない



漏えいしてはいけない情報を
社外に「出さない」

見せない

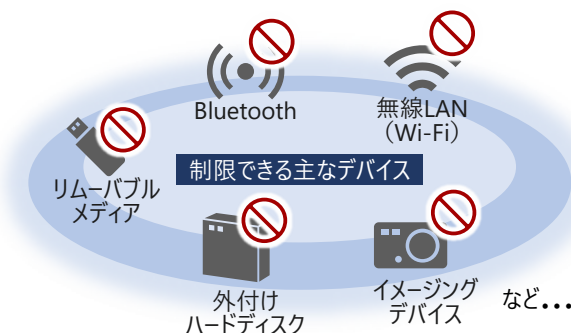


情報が社外に出ても
中身を「見せない」

デバイスの利用を制御

データの不正持ち出しの心配はありませんか？

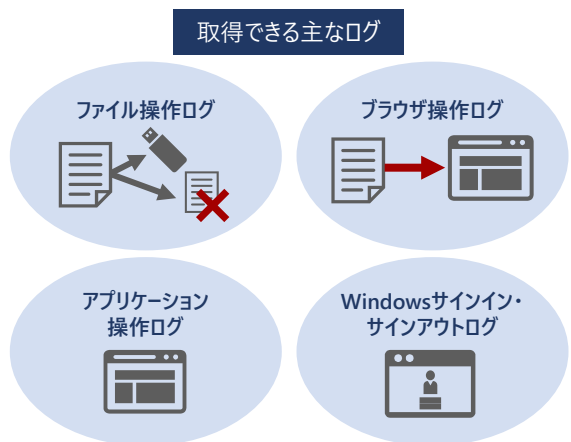
- さまざまなデバイスの利用やネットワーク接続を制限することで、不正なデータの持ち出しによる情報漏えいを防ぎます。
- 特定の機種のみ利用を許可することや、部署や利用者ごとに許可・禁止を設定できるため、状況にあわせた柔軟な運用が可能です。



ログの取得・管理

情報漏えいにつながる操作の検出はできていますか？

- PC上のさまざまなユーザー操作ログが取得できます。たとえば、USBメモリへのデータコピーといったファイル操作ログを確認することで、不正なデータ持ち出しなど違反の検出ができます。
- ログ管理を周知することで不正行為の抑止効果も期待できます。

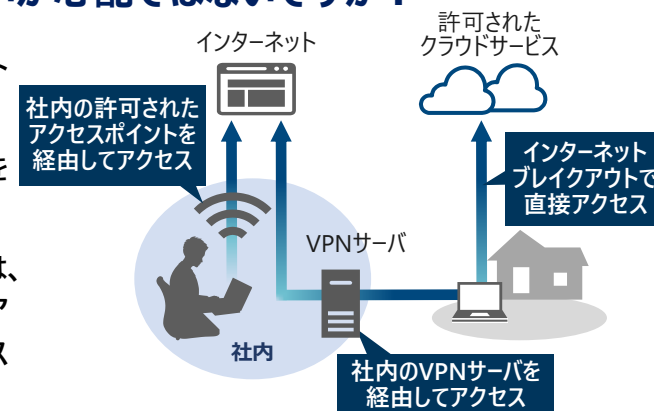


など...

接続先ネットワークを制御

ネットワーク経由での情報漏えいが心配ではないですか？

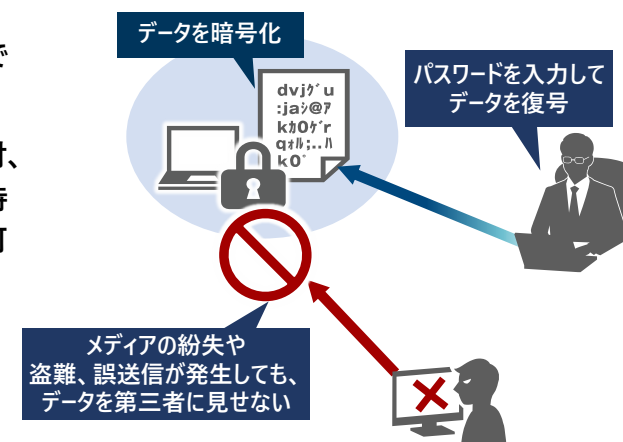
- 社内では、管理者が許可したアクセスポイント以外の利用を禁止できます。
- 社外のインターネット接続時には、VPN接続を強制することで、安全性を確保します。
- 社外の許可されたクラウドサービスの利用では、インターネットブレイクアウトを利用して直接アクセスできるようにすることで、クラウドサービスの快適な利用を実現します。



データの暗号化

紛失や盗難、誤送信が起きた場合でも情報漏えいを防げますか？

- PCの内蔵ハードディスクをドライブごと暗号化できます。
- リムーバブルメディアへの書き出しやメール添付、クラウドサービスの利用などで社外にデータを持ち出す場合は、パスワード入力により復号可能な形式でデータを暗号化できます。



JP1 Cloud Service

JP1 Cloud Serviceは、One PlatformでITシステムからエンドポイントまで、運用オペレーションを含め統合的に管理するシステム運用管理SaaSです。

ハイブリッドクラウドやマルチクラウド環境で

複雑化・多様化したシステムにおける業務運用を自動化し、さまざまなデータとその関係性やナレッジを統合的に管理して運用全体の共通化を進めることで、人に依存しないIT運用の実現をめざします。

- ✓ システム運用を最適化
- ✓ 業務運用を自動化
- ✓ ITシステムを統合的に管理



オンプレミスとマルチクラウドのハイブリッド環境における統合的な運用管理を実現

- システムごとにサイロ化した運用を統合し、システム全体で運用の効率向上と品質確保の両立を実現
- システム横断で『運用の標準化』と『運用要員の共有化』を促進、『運用の統制』も図る

運用統合 JP1 Cloud Service/Operations Integration がめざす姿

運用の標準化

Operations as Code*により
運用の属人性排除と
自動化を促進

運用要員の共有化

運用要員の
スキルと経験値に基づく
適切な作業割り当てが可能

運用の統制

各作業証跡の集約管理と
各種規格の遵守状況の可視化で
監査対応が容易



システム全体の運用の効率向上と品質確保の両立を実現



オンプレミス

業務システム



ハイブリッドクラウド



マルチクラウド

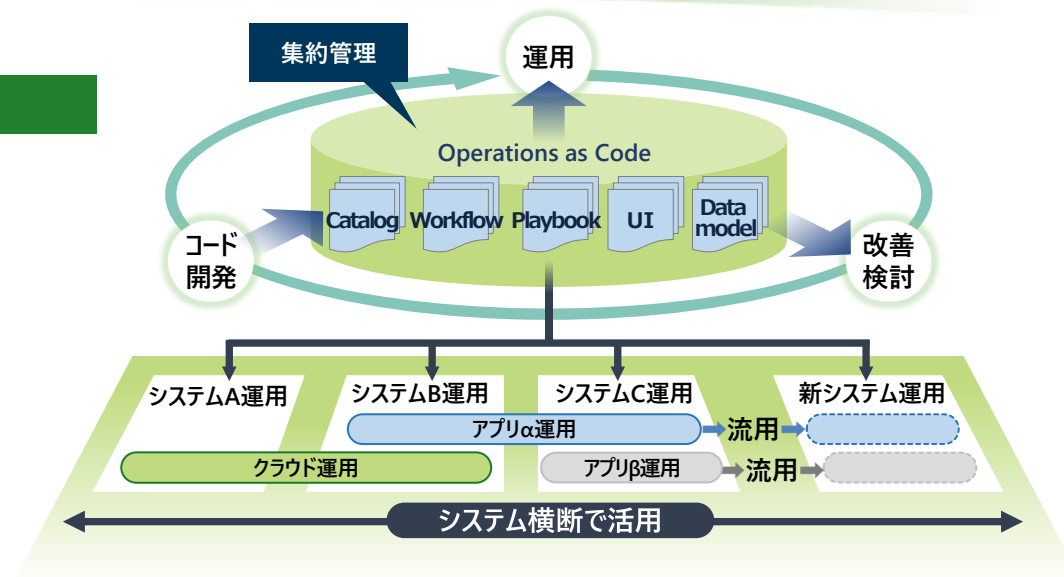
* 運用作業の自動化、審査・承認フロー、運用で必要となるデータレコードなども含めた運用シナリオをコード化し、適宜、効率性および信頼性を向上させる手法。

運用の標準化

各種システムの運用が異なり、運用負荷や運用コストが増大していませんか

- 運用作業における操作、データやドキュメントの管理なども含めて運用を標準化することで、運用の効率化を実現。ドキュメントファイルとプログラムコードの両方を管理して、手動運用と自動運用を両立できるため、段階的に自動運用に移行することが可能で、自動化の拡充も無理なく進められます。
- アプリケーションやインフラごとの自動化コード、ワークフロー、UIなどの各種運用コンテンツをGit*で集約管理。コンテンツを共有化し、改善・拡充することで、運用作業品質の均一化や自動化を促進できます。

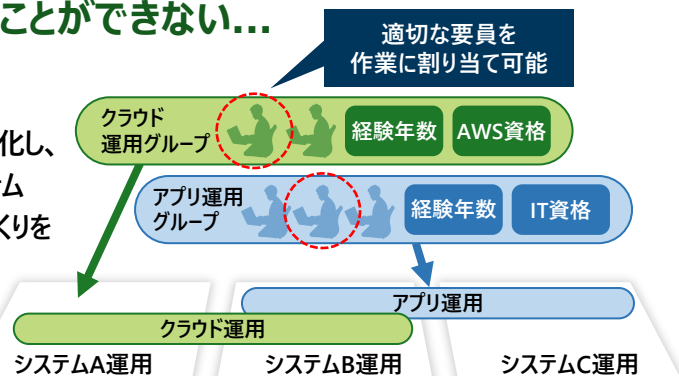
* プログラムコードやドキュメントの変更管理を行うシステム。



運用要員の共通化

システムごとに運用体制が縦割りだと、必要なときに必要なスキルをもつ要員に作業を依頼することができない... なんてことはありませんか

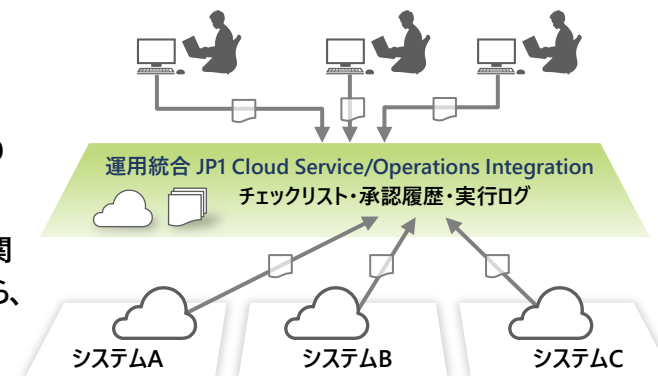
- 運用要員のスキルや作業状況を可視化し、適切な要員を割り当てることで、システム横断で各種運用を実行できる体制づくりを支援します。
- 特定の要員に不足しているスキル、人材育成の気付きにも活用できます。



運用の統制

証跡の散在化が原因で、監査対応の負担が大きくなっていませんか

- 作業画面からアップロードしたチェックリスト、Playbookのコードで実行されたログなどを集約管理することで、証跡（エビデンス）の散在を防止できます。
- ISOなどの規格の要求事項と運用項目の関連付け、および各運用項目の実施状況から、準拠状況の可視化も支援していきます。*

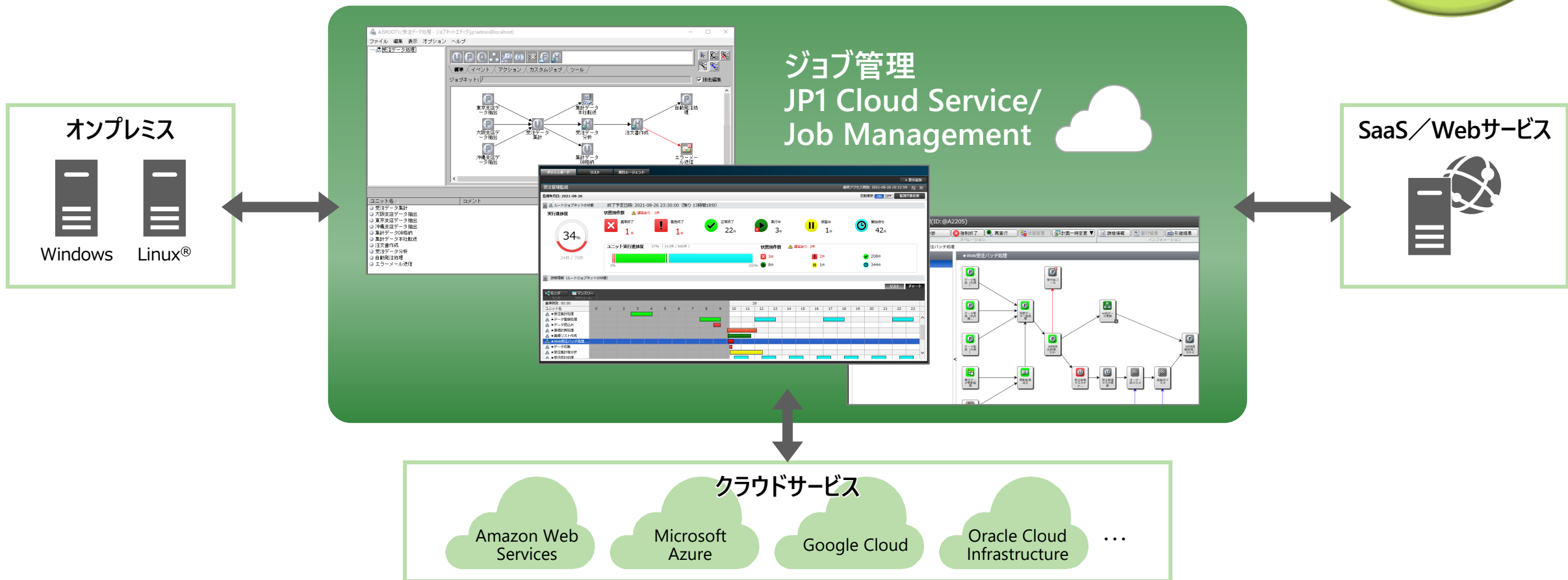


* 将来構想を含みます。

業務フローの開発・実行を効率化・省力化し、さまざまな環境における業務システムの自動運用と安定稼働を実現

- 各種クラウドサービスと連携した業務や実行条件が複雑な業務の自動化も、GUI操作で効率的に開発
- 自動化した業務の状況をリアルタイムで視覚的に表示、問題の迅速な把握・対処を支援

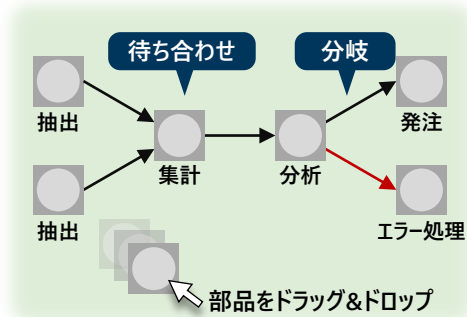
豊富な実績があるシステム運用管理ツール JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager の機能を SaaSで利用できるサービスです。



複雑な業務フローの効率的な開発

業務フローの開発に多くの時間と労力を費やしていませんか？

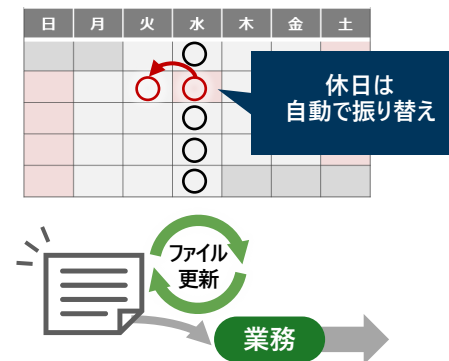
- 業務自動化のフロー開発に必要な、標準的な機能を部品として提供。自動化したい業務フローをGUI操作で容易に定義できます。
- 複数の処理が終了するのを待ち合わせて次の処理を開始したり、処理結果によって次に行う処理を分岐させたりするなど、実行条件が複雑な業務フローもGUI操作で効率的に開発できます。



業務に応じたきめ細かいスケジューリング

業務を独自のタイミングで実行できなくて困っていませんか？

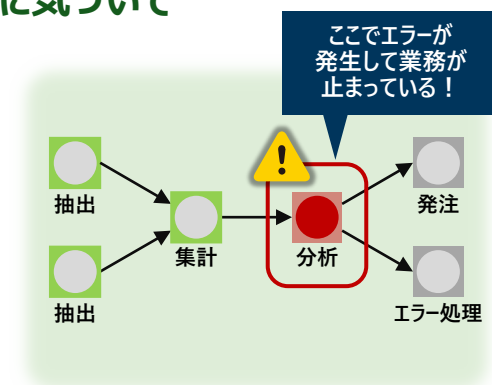
- 月次、週次、特定日、休業日振り替えなど、拠点ごとのカレンダーや業務のスケジュールに合わせて実行を制御できます。
- 繰り返し実行する、ファイルが更新されたら実行するなど、指定された契機で業務を自動的に実行できます。



業務の進捗や実行状況の監視

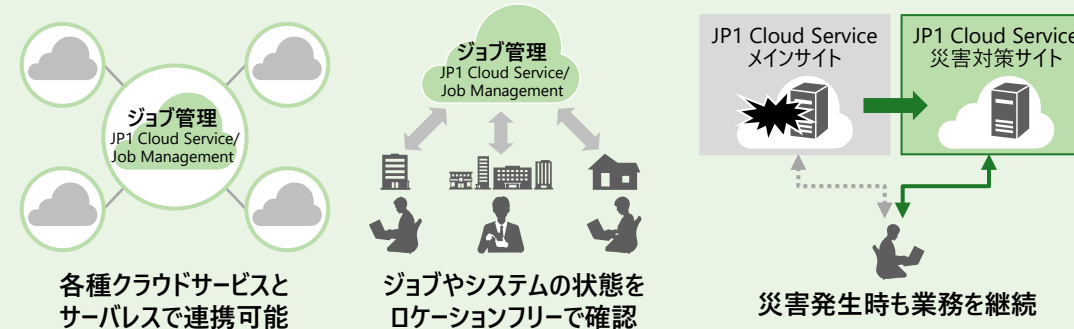
自動化した業務の実行エラーにすぐに気づいて対処できますか？

- 業務全体の進捗度、正常終了や異常終了、遅延など状態別の実行件数、業務ごとの実行状況を確認できます。
- どこで問題が発生しているかを容易に特定でき、対象業務の再実行・保留などの対処をスムーズに行えます。



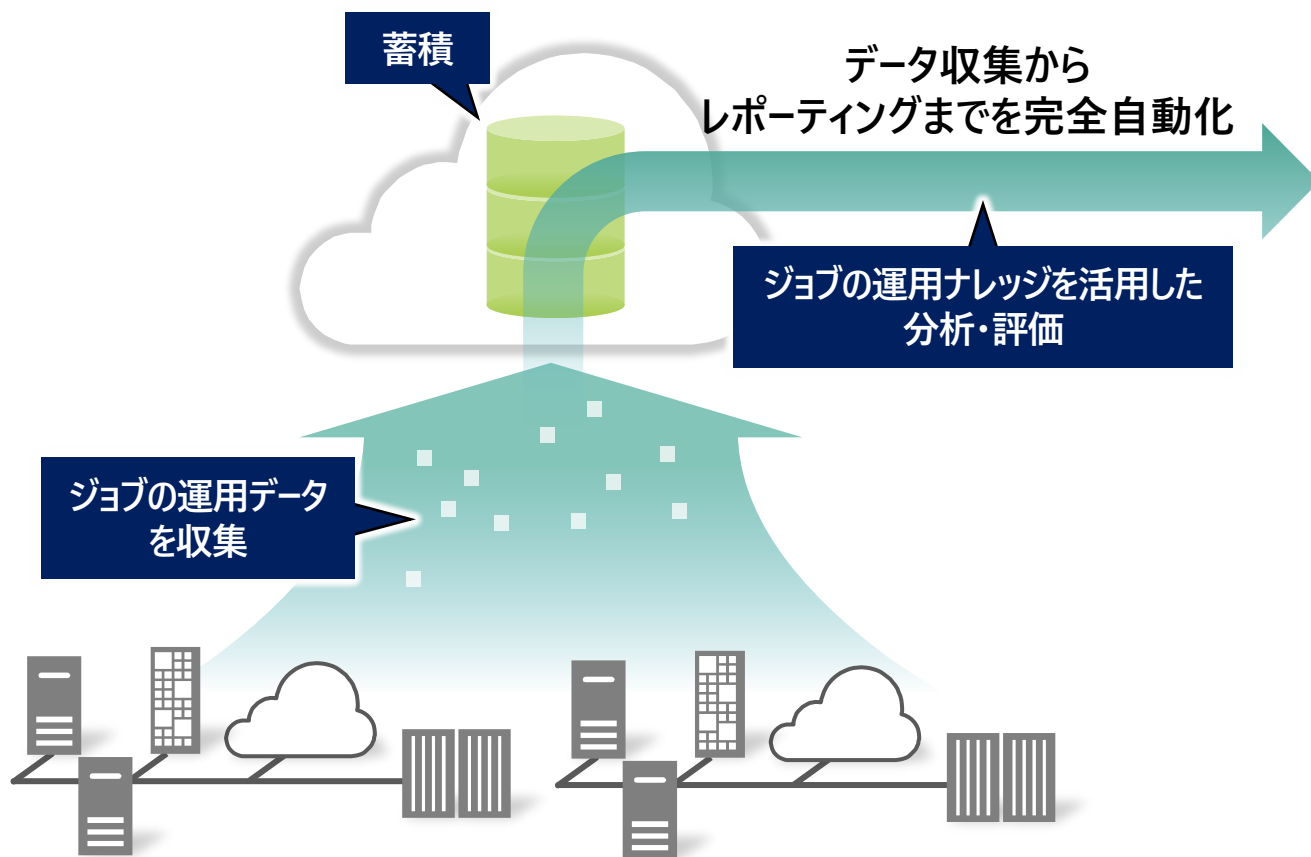
ジョブ管理をSaaSで利用するメリット

マネージャー環境の構築・保守が不要であることはもちろん、ミッションクリティカルな業務の安定稼働と柔軟な運用を両立できます。



ジョブ運用状況の可視化と問題点の特定により安定したジョブ運用を実現

- 日立の運用経験とノウハウを活用し、ジョブ運用の実績データを効率よく分析
- ビジュアルな分析レポートで、ジョブ運用の問題点と改善策を提案



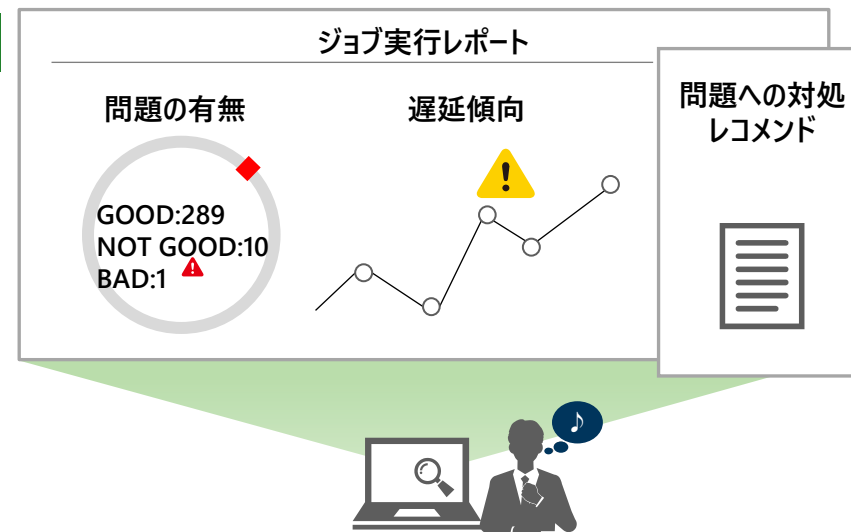
ジョブの運用状況を可視化し、
評価レポートを表示



ジョブ運用レポートの自動生成

ジョブ運用の問題把握や改善の検討に時間と手間がかかっていませんか？

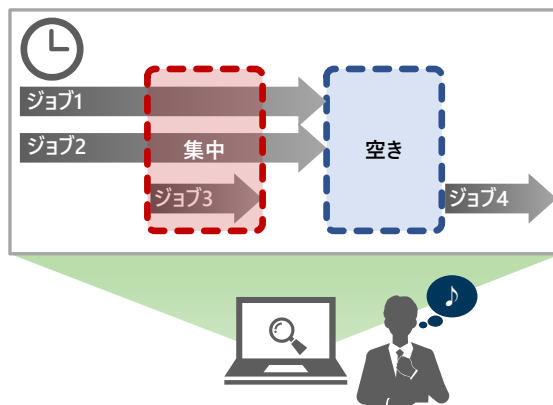
- データの収集・蓄積、データの抽出、傾向の分析、レポート生成を自動化できます。
- ジョブ運用に問題がないか、将来的に障害になりそうな予兆がないかを簡単に把握できます。
- ジョブ運用に精通した日立の知見に基づいて運用状況が可視化され、課題が抽出されるため、運用の改善、対処をすぐに始められます。



ジョブスケジュールのモニタリング

ジョブの集中時間や空き時間の把握に困っていませんか？

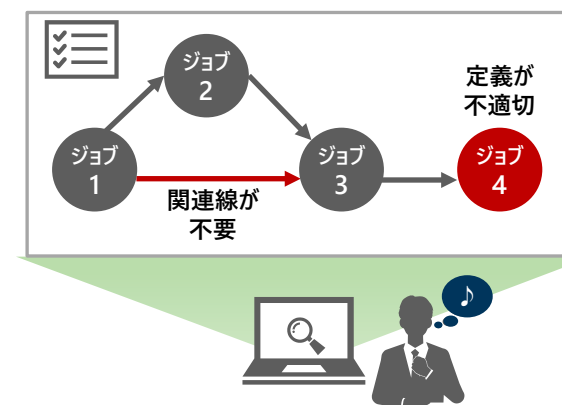
- ビジュアルなレポートで、複数ジョブの実行時間帯や重なりをまとめて確認できます。
- ジョブ実行の実態把握により、効率的なジョブ実行や臨時のジョブ実行のスケジュール検討が容易になります。



ジョブ定義診断

ジョブ定義の変更や保守が難しくなっていませんか？

- ジョブ定義の不適切な箇所のレポートを参照することで、ジョブ定義のメンテナンスの検討がしやすくなります。
- レポートを参照することで、ジョブ定義の複雑性を確認でき、定義の見直しや改善がしやすくなります。



複雑なシステムの監視・関連性の統合管理により、オブザーバビリティを実現 利用者に応じた情報提供により、的確な状況把握・迅速な障害対応を支援

- オンプレミス、クラウド、ハイブリッド環境のITシステムを監視し、収集データの関連付け、統合管理・可視化により、オブザーバビリティを実現
- 利用者に応じた情報の可視化により、ITシステムの健全性の把握、ビジネスやサービスへの影響の把握や障害発生時の迅速な対応を支援

豊富な実績があるシステム運用管理ツール JP1/Integrated Management 3 - Managerの機能をSaaSで利用できるサービスです。



システム管理 JP1 Cloud Service/System Management

イベント管理

インテリジェント統合管理基盤

パフォーマンス管理

Agility

リアルタイムに現状把握

Resilience

状況に応じた提案・対処・回復
自動アクション

イベント情報

構成情報

稼働情報

ジョブネット情報

オンプレミス/
プライベート
クラウド

Amazon Web Services
EC2、Lambda、S3、DynamoDB、
Step Functions、SQS、etc.

Microsoft Azure
Virtual Machines、Azure Functions、
Blob Storage、Queue Storage、etc.

Google Cloud
GCE、Cloud Functions、GCS、
Cloud Pub/Sub、etc

コンテナ
Docker、Open Shift、
Kubernetes

SaaS/
Web
サービス

アプリ
ケーション
OracleDB、SAP

EC2: Amazon Elastic Compute Cloud Lambda: AWS Lambda S3: Amazon Simple Storage Service DynamoDB: Amazon DynamoDB
Step Functions: AWS Step Functions SQS: Amazon Simple Queue Service GCE: Google Compute Engine GCS: Google Cloud Storage

業務インパクトの把握

ビジネスやサービスへの影響を把握できていますか？

URLやICMPでの外形監視の状況、重要イベントの発生やITインフラの稼働状況など収集したデータの関連性も含めてわかりやすく表示。

障害発生時にどのビジネスやサービスに影響があるかをひと目で判断できます。



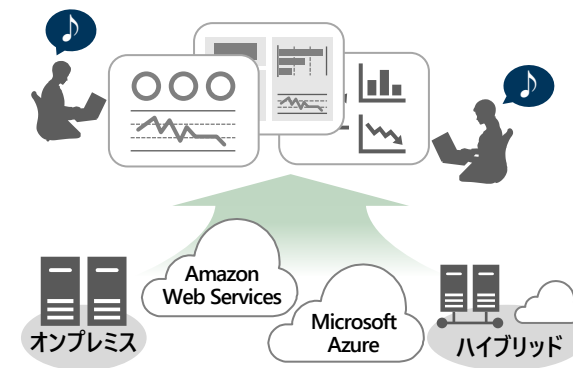
ICMP: Internet Control Message Protocol

複雑なシステムをきれいに監視・可視化

複雑なシステムで問題の発生箇所や原因を特定するのは大変ではありませんか？

オンプレミス、クラウドやハイブリッド環境など、複雑なシステム全体をきれいに監視し、収集したデータを関連付けて可視化。

管理者それぞれに必要な視点で可視化できるため、問題の発生箇所や発生の原因を迅速に把握できます。

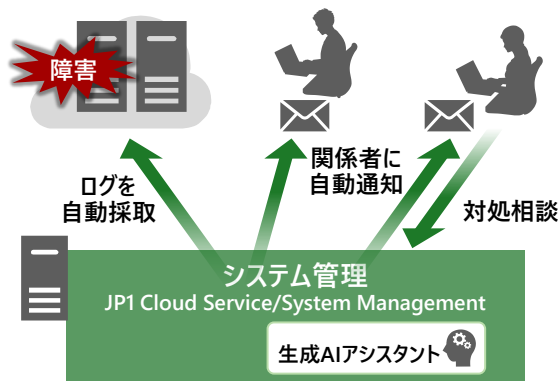


問題への迅速な対処

システムの障害発生時、初動対応を迅速にできていますか？

発生したイベントに応じて、ログ採取や関係者への通知などの適切な初動を自動実行。

迅速で確実な初動対応で、障害発生時の調査や対策をスムーズに実施できます。



※ 生成AIアシスタント（生成AI連携機能）を使用する場合、生成AI環境はお客さま環境に構築していただく必要があります。

システム管理をSaaSで利用するメリット

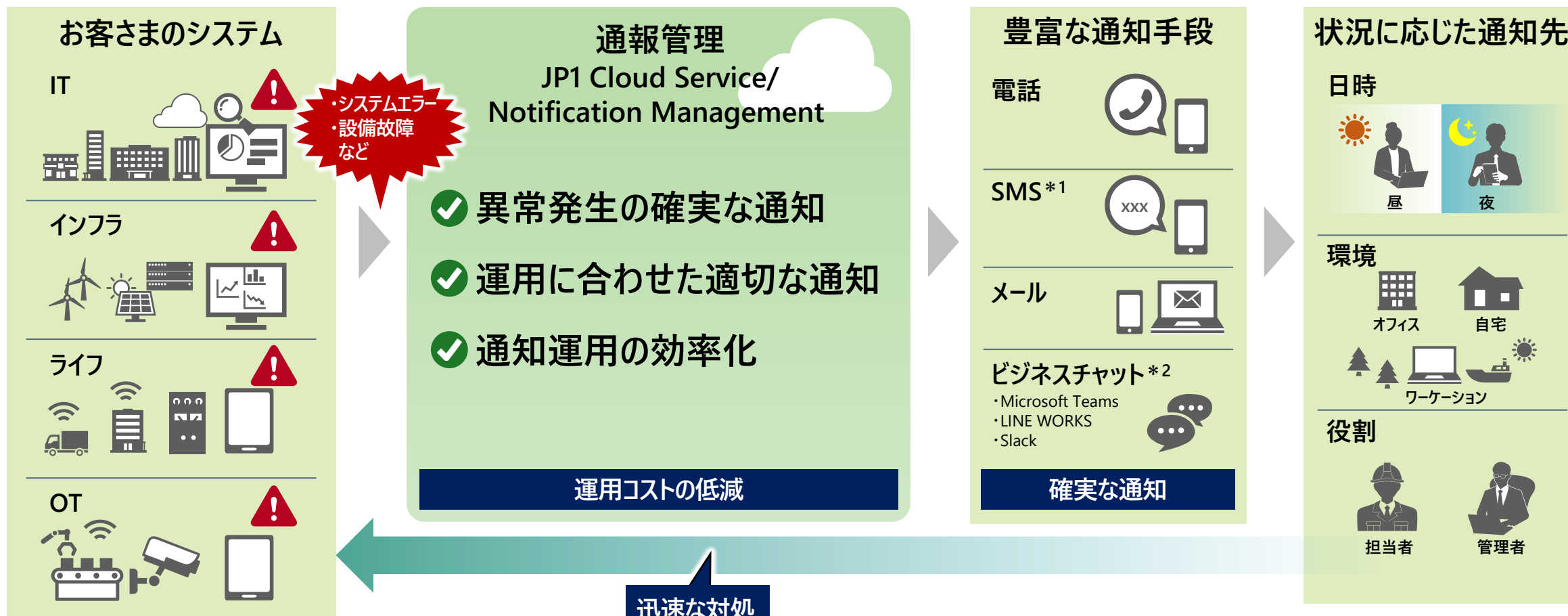
マネージャー環境の構築・保守が不要であることはもちろん、ミッションクリティカルな業務の安定稼働と柔軟な運用を両立できます。

ニーズに合わせて稼働情報の保存期間を選択可能
過去データとの比較も可能

稼働状況やビジネス・サービスへの影響をロケーションフリーで確認

迅速・確実な通知で、ビジネスへの影響を最小化

- システムの異常発生を、適切な通知先・通知手段で通報し、迅速な対処を支援
- 通知実績の評価による通知先の最適化や通知先情報・通知手段の一元管理による通知運用の効率化



*1 SMS (ショートメッセージサービス) 通知は、お客さまにて別途Twilioの契約が必要です。
*2 ビジネスチャット (Microsoft Teams、LINE WORKS、Slack) は、お客さまにて別途契約が必要です。

異常発生の実確な通知

異常発生時、担当者と連絡を取るまでに時間がかかり、初動対応が遅れていませんか

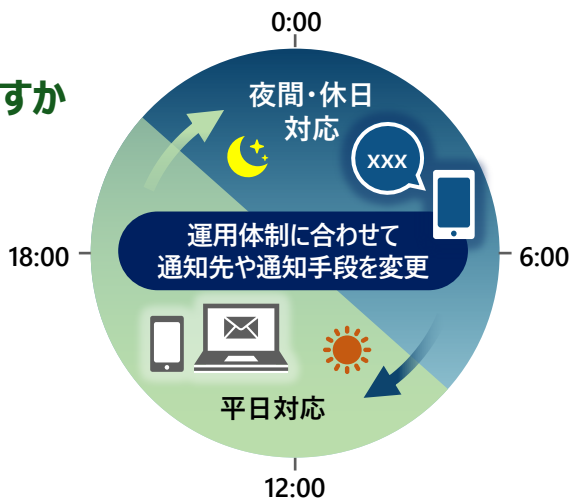
- お客様の既設システムの異常発生を関係者へ迅速かつ確実に自動通知します。
- 通知の受け取り側に合った通知方法にするなど、豊富な通知手段を組み合わせることで適切に通知できます。
- 担当者が応答するまで繰り返し通知し、認識漏れの防止を支援します。
- 応答が確認できない場合は、別の担当者に代替通知することで対応遅延を防止します。



運用に合わせた適切な通知

時間帯やシフト制など、通知先の変更に対応できていますか

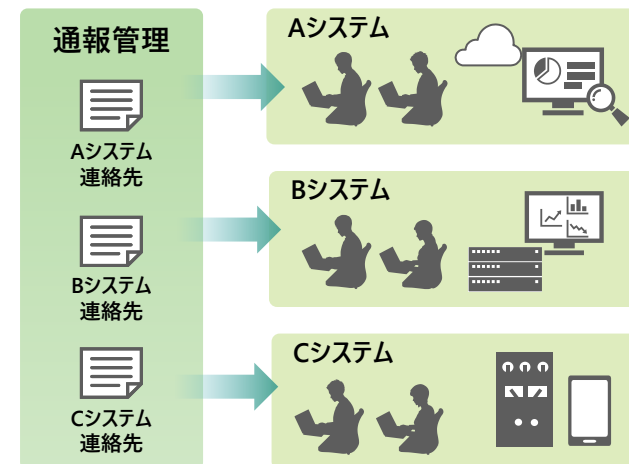
- 時間帯や平日、休日の運用体制に合わせて通知先や通知手段を変更できます。
- 連絡体制(連絡網)に従って一斉通知をしてから、個々の担当者に順番に電話連絡するなど、効率よい通知運用を実現できます。



通知運用の効率化

通知先の見直しや変更に関手間がかかっていませんか

- 通知先情報や通知手段を連絡網にまとめて管理し、通知先の見直しや変更を効率化できます。
- 通知実績の数値化によって失敗の多い通知先を把握でき、見直しや改善に役立てられます。



多様化するエンドポイントを適切に管理し、セキュリティリスクから守る

- 手間をかけずに正確かつ適切な管理でIT資産を有効活用
- タイムリーな情報収集と対策でエンドポイントのセキュリティ管理を支援

豊富な実績があるIT資産管理ツール JP1/IT Desktop Management 2 - ManagerとJP1/秘文 Device Controlの機能を SaaSで利用できるサービスです。



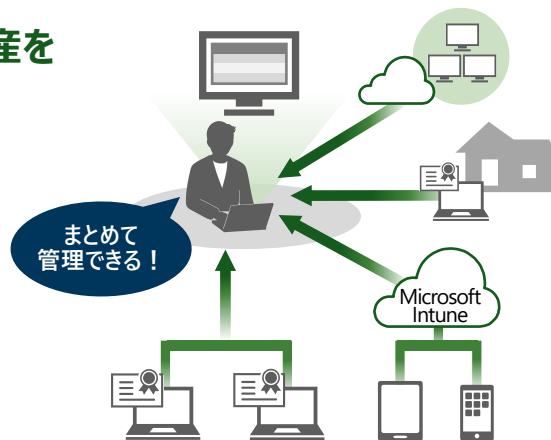
ソフトウェア情報 ・ ハードウェア情報 ・ セキュリティ情報 ・ 操作ログ



エンドポイントのIT資産管理

増加・分散するエンドポイントの資産を適切に管理できていますか？

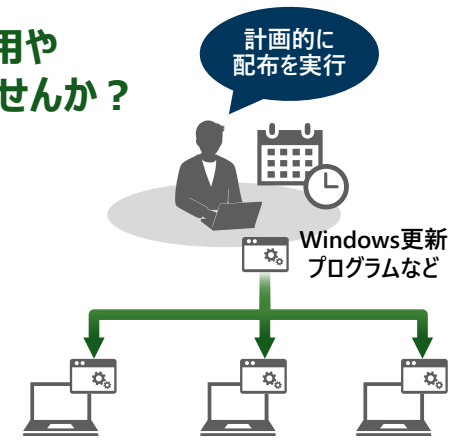
- IT資産情報を自動収集し、IT資産の棚卸やライセンス管理を効率化できます。
- Microsoft Intuneと連携することで、スマートデバイスの情報をPCやサーバなどの情報と一緒に管理できます。



計画的な自動配布・自動インストール

多数のエンドポイントへのOSパッチ適用やプログラム更新作業が大変ではありませんか？

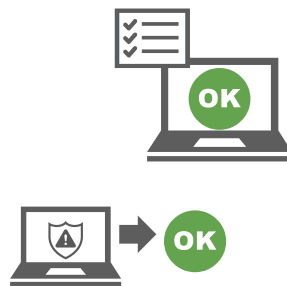
- ネットワークに負荷をかけずに、大容量のデータを多数のエンドポイントに対して計画的に配布できます。
- ソフトウェアやプログラムを指定した日時に一斉適用できます。



セキュリティリスク診断・自動対策

エンドポイントのセキュリティ対策に不安はありませんか？

- 多数のエンドポイントのセキュリティリスクを自動で診断できます。
- セキュリティリスクがあるエンドポイントに対して自動対処が可能です。



ログの取得・管理

情報漏えいにつながる操作の検出はできていますか？

- PC上のさまざまなユーザー操作ログが取得できます。たとえば、USBメモリへのデータコピーといったファイル操作ログを確認することで、不正なデータ持ち出しなど違反の確認ができます。
- ログ管理を周知することで不正行為の抑止効果も期待できます。



デバイスの利用を制御

データの不正持ち出しの心配はありませんか？

- さまざまなデバイスの利用やネットワーク接続を制限することで、不正なデータの持ち出しによる情報漏えいを防ぎます。
- 特定の機種のみ利用を許可することや、部署や利用者ごとに許可・禁止を設定できるため、状況にあわせた柔軟な運用が可能です。



IT運用最適化サービス

デジタルワークフロー、デジタルオペレータなどの先進的なプラットフォームを活用してIT運用を変革。お客さまの業務プロセスやシステム運用の全体最適化によって、組織全体のパフォーマンスを最適化します。

- ✓ 的確な現状分析と要件整理
- ✓ 最適な運用の提案・実装
- ✓ 運用改善を継続的にサポート



デジタルワークフローでビジネスをスピードアップ

ServiceNowの各種アプリケーションを組み合わせ、業務プロセスの標準化と最適化を実現。デジタル技術でビジネスの変革を推進し、組織の生産性やサービス品質の向上を促進します。

さまざまな業種・分野のDXを推進：ServiceNow適用ユースケース例

コンタクトセンター

問い合わせ対応の
業務効率 & 顧客満足度の向上

- 問い合わせ対応のスピードアップ
- 停滞防止
- サービス品質の向上



PSIRTの運用

セキュリティインシデント対応の
迅速化

- 検知漏れや滞留の抑止
- 対応の迅速化



CSIRTの運用

ソフトウェア脆弱性対策の
効率化

- セキュリティリスクの軽減
- 運用の効率化・自律化を支援

IT資産の管理

適正なIT資産管理で、
リスク対策 & コンプライアンス遵守

- IT資産の把握
- ソフトウェアライセンス管理
- セキュリティ対策漏れの抑止

自治体

自治体のDX推進で自治体と住民
それぞれが抱える課題を解決

- セキュリティリスクの軽減
- 運用の効率化・自律化を支援

オブザーバビリティ

統合管理

JP1/Integrated Management 3 - Manager (V13)	サービスやシステムを監視・関連性を統合管理することでオブザーバビリティを実現し、システム・ビジネスの健全性の把握など、利用者に応じた情報の提供・活用を支援する製品です。
JP1/Integrated Management 3 - Event Gateway for Network Node Manager i (V13)	ネットワークノードマネージャーJP1/Network Node Manager iが発行するインシデントをJP1/Integrated Management 3 - Managerで監視できるイベントに変換する製品です。

パフォーマンス管理・稼働性能管理

JP1/Performance Management - Manager (V12)	OS、データベース、各種アプリケーション、仮想環境など、さまざまな監視対象から稼働情報を収集し、パフォーマンス低下の事前検知や、チューニングに役立つレポート出力などにより、システムの安定稼働を支援する製品です。
JP1/Performance Management - Remote Monitor for Platform (V12)	OSの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。監視対象サーバにインストールせずに、複数のサーバ上にあるOSをリモートで監視できます。
JP1/Performance Management - Remote Monitor for Virtual Machine (V12)	仮想環境（ハイパーバイザー）の稼働状況を監視する監視エージェント製品です。監視対象サーバにインストールせずに、複数の物理サーバ上にある仮想環境をリモートで監視できます。
JP1/Performance Management - Remote Monitor for Oracle (V12)	Oracleデータベースの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。監視対象サーバにインストールせずに、複数のサーバ上にあるデータベースをリモートで監視できます。
JP1/Performance Management - Remote Monitor for Microsoft(R) SQL Server (V12)	Microsoft SQL Serverの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。監視対象サーバにインストールせずに、複数のサーバ上にあるデータベースをリモートで監視できます。
JP1/Performance Management - Agent Option for Platform (V12)	OSの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。リモート監視より、多くの種類のデータを収集できます。
JP1/Performance Management - Agent Option for Oracle (V12)	Oracleデータベースの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。リモート監視より、多くの種類のデータを収集できます。
JP1/Performance Management - Agent Option for Microsoft(R) SQL Server (V12)	Microsoft SQL Serverの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。リモート監視より、多くの種類のデータを収集できます。
JP1/Performance Management - Agent Option for HiRDB (V12)	HiRDBの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。
JP1/Performance Management - Agent Option for Enterprise Applications (V12)	SAPシステムの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。
JP1/Performance Management - Agent Option for Microsoft(R) Internet Information Server* (V12)	Microsoft Internet Information Servicesの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。
JP1/Performance Management - Agent Option for Microsoft(R) Exchange Server* (V12)	Microsoft Exchange Serverの稼働状況を監視する監視エージェント製品です。
JP1/Performance Management - Agent Option for Transaction System* (V12)	uCosminexus OpenTP1の稼働状況を監視する監視エージェント製品です。

* 日本限定販売

オブザーバビリティ

ネットワーク管理

JP1/Network Node Manager i (V13)	業界標準のSNMPを採用し、ネットワーク全体をビジュアルなマップで集中管理できる製品です。ネットワーク上のノードを検出し、自動的に最新のネットワーク構成図（トポジマップ）を作成します。
JP1/Network Node Manager i Advanced (V13)	JP1/Network Node Manager iの上位製品で、ネットワークのパフォーマンスや可用性・信頼性を確保するためのルーター冗長化（RRG: Router Redundancy Group）やリンクアグリゲーションなどの技術にも対応しています。
JP1/Network Node Manager i to Advanced Upgrade License (V13)	JP1/Network Node Manager i からJP1/Network Node Manager i Advancedへアップグレードするためのライセンス製品です。
JP1/Network Node Manager i Developer's Toolkit (V13)	JP1/Network Node Manager iやJP1/Network Node Manager i Advancedと連携するアプリケーションを開発するためのツールキットを提供する製品です。
JP1/SNMP System Observer (V13)	SNMPに対応するネットワーク機器の性能情報、統計情報、稼働情報を収集・蓄積し、リアルタイム監視やレポート作成を実現する製品です。
JP1/Extensible SNMP Agent for Windows (V12)	業界標準のSNMPを使用して、JP1/Network Node Manager iとの間でMIB情報を交換するためのSNMPエージェント製品（Windows用）です。
JP1/Extensible SNMP Agent (V12)	業界標準のSNMPを使用して、JP1/Network Node Manager iとの間でMIB情報を交換するためのSNMPエージェント製品（Linux/UNIX用）です。
JP1/SNMP System Observer - Agent for Process (V12)	サーバシステムで動作するプロセス・サービスの状態を定期的に監視するプロセス・サービス監視エージェント製品です。JP1/SNMP System Observerで設定された監視条件に従ってプロセス・サービスを監視し、プロセス・サービスの状態をJP1/SNMP System Observerに通知します。
JP1/Network Element Manager for Cisco* (V12)	CiscoルーターやCiscoスイッチを、リアリティのあるパネル監視画面を使って監視するための製品です。
JP1/Network Element Manager for AX Series* (V12)	アラクサラネットワークス株式会社AXシリーズの機器を、リアリティのあるパネル監視画面を使って監視するための製品です。

インフラストラクチャ管理

JP1/Operations Analytics (V12)	仮想環境やクラウドの利用で複雑化するIT基盤の稼働状況と構成情報を可視化して、IT基盤の管理・運用を改善し、効率向上を支援する製品です。
--------------------------------	--

ITサービス管理

JP1/Service Support (V12)	利用者からの問い合わせやシステムで発生した障害などの案件について、解決するまでの状況把握を可能にし、案件の一元管理を実現する製品です。
JP1/Service Support Starter Edition (V12)	JP1/Service Supportの小規模運用向けの製品です。JP1/Service Supportと同じ機能を使用できます。
JP1/Service Support Starter to Standard Upgrade License (V12)	JP1/Service Support Starter EditionからJP1/Service Supportへアップグレードするためのライセンス製品です。

* 日本限定販売

通報

通報管理

JP1/TELstaff AE Professional Edition 300 Users* (V12)
JP1/TELstaff AE Professional Edition 1000 Users* (V12)
JP1/TELstaff AE Professional Edition 2000 Users* (V12)

システム運用中に発生した障害や問題を、さまざまな通知手段でリアルタイムに通知する製品です。

JP1/TELstaff AE Professional Edition 300 to 1000 Users
Upgrade License* (V12)
JP1/TELstaff AE Professional Edition 1000 to 2000 Users
Upgrade License* (V12)

JP1/TELstaff AE Professional Editionの通知先ユーザー数を増やすためのアップグレードライセンス製品です。

* 日本限定販売

オートメーション

ジョブ管理

JP1/Automatic Job Management System 3 - View (V13)	JP1/Automatic Job Management System 3 のビューア製品です。
JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager (V13)	JP1/Automatic Job Management System 3 のマネージャー製品です。業務フローの開発や実行を効率化・省力化し、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドなど、さまざまな環境における業務システムの自動運用と安定稼働を実現します。
JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent (V13)	JP1/Automatic Job Management System 3のエージェント製品です。マネージャーから受けた指示に従って業務を実行します。
JP1/Automatic Job Management System 3 - Agent Minimal Edition (V13)	JP1/Automatic Job Management System 3の小規模業務（Webサーバの起動・停止、ファイルのバックアップ、ログ退避など）向けのエージェント製品です。マネージャーから受けた指示に従って業務を実行します。
JP1/Automatic Job Management System 3 - Definition Assistant (V13)	ジョブ定義情報をMicrosoft Excelで変更して反映できるようにする製品です。Microsoft Excelを利用することで、変更箇所の検索やサーバ名の一括置換などが容易になり、ジョブ変更時の一連の作業を効率よく行うことができます。
JP1/Automatic Job Management System 3 for Cloud Service Applications (V13)	各種クラウドサービスと連携する業務の自動化を支援する製品です。Amazon Web ServicesやMicrosoft Azure上で実行するサーバレス業務などを連携して自動実行するための部品をローコードで作成できます。
JP1/Automatic Job Management System 3 for Enterprise Applications (V13)	SAP ERPシステムで実行する業務を制御するための製品です。JP1/Automatic Job Management System 3 - ManagerからSAP ERPシステムの業務を自動実行できます。
JP1/Power Monitor* (V12)	サーバ装置の電源のON/OFFを制御するための製品です。
JP1/Script (V13)	Windows上でスクリプト言語を使って簡単にバッチジョブを作成するための製品です。if文、while文、DeleteFileコマンドなど、Windows上で実行できる130種類以上のコマンドを提供しています。
JP1/Script - Access License (V13)	JP1/Scriptをリモートデスクトップサービスクライアントで使用する場合に必要なライセンス製品です。
JP1/File Transmission Server/FTP (V13)	高信頼、高効率機能を備えたファイル伝送製品です。送信側と受信側で伝送されたファイルサイズを自動確認し、不正があれば警告したり、伝送履歴を取得したりできます。

クライアント業務自動化

JP1/Client Process Automation (V13)	RPA製品が実行する業務を含め、PCで行う定型業務の実行スケジュールや実行順序を制御する製品です。カレンダーで設定した営業日に業務を実行したり、ファイル受信を契機として業務を開始したりするなど、業務の実行をきめ細かく制御できます。
JP1/Client Process Automation Option for Automatic Job Management System 3 (V13)	JP1/Client Process Automationが実行する複数の業務の実行順序や実行状況をJP1/Automatic Job Management System 3 - Managerから一元管理するための製品です。

運用自動化

JP1/Automatic Operation (V13)	システムにおける複雑な作業や時間を要する日々の運用オペレーションを標準化・自動化する製品です。専門知識やノウハウが必要なIT運用の自動化により、オペレーションミスの防止や効率向上を実現します。
JP1/Automatic Operation Content Pack (V13)	オンプレミスやクラウドなどのシステム運用で実施される典型的な運用手順をテンプレートとして提供する製品です。

* 日本限定販売

オートメーション

作業プロセス可視化

JP1/IT Process Operations* (V12)

ITシステムの運用業務における作業内容や作業時間などを簡単に記録する製品です。

作業プロセス可視化（RPA開発用）

JP1/IT Process Operations for RPA* (V12)

RPAロボット開発の設計・開発に必要なPCの操作内容や作業の流れを把握するためのマウス・キーボード操作や画面遷移を簡単に記録する製品です。

運用ナビゲーション

JP1/Navigation Platform (V12)

日々行う業務の作業手順を可視化・共有化し、担当者が的確に効率よく作業を遂行できるようナビゲートする製品です。

JP1/Navigation Platform for Developers (V12)

JP1/Navigation Platformのシステム連携プログラム（プラグイン）を開発・テストする製品です。

高速大容量ファイル転送

JP1/Data Highway - Server (V12)

大容量のファイルをインターネット経由で高速かつセキュアに転送する製品です。

JP1/Data Highway - Server Starter Edition (V12)

JP1/Data Highway - Serverの小規模運用向けの製品です。JP1/Data Highway - Serverと同じ機能を使用できます。

JP1/Data Highway - Server Starter to Standard Upgrade (V12)

JP1/Data Highway - Server Starter EditionからJP1/Data Highway - Serverへアップグレードするためのライセンス製品です。

* 日本限定販売

バックアップ

バックアップ管理

JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Media* (V13)	JP1/VERITAS NetBackup 10.3のメディアキットです。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Enterprise Server* (V13)	複数のバックアップサーバ（プライマリサーバおよびメディアサーバ）を使用して、マルチプラットフォームまたはマルチベンダーデバイス環境を統合的にバックアップ管理する製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Server* (V13)	1台のバックアップサーバを使用し、マルチプラットフォーム環境、またはマルチベンダーデバイス環境をバックアップ管理する製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Drive Option (Library Based Tape Drive Support)* (V13)	テープライブラリ装置、チェンジャー、オートローダなどのロボット制御下にあるテープドライブを使用するための製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Drive Option (Shared Storage Option)* (V13)	同一バックアップシステム内にあるバックアップサーバで、テープライブラリ装置中のテープドライブを共有して使用するための製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Standard Client Option* (V13)	ネットワーク経由でデータをバックアップ・リストアするためのクライアントに必要な製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Enterprise Client Option* (V13)	ネットワーク経由でデータをバックアップ・リストアするためのクライアント製品です。仮想環境（設定情報など）のバックアップ・リストアなど、高度なバックアップ運用を実現します。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Database Pack* (V13)	Oracle、Microsoft SQL Server、またはExchange Serverのデータベースシステムをオンラインでバックアップ・リストアするための製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Agent for HiRDB License* (V13)	HiRDBのデータベースシステムをオンラインでバックアップ・リストアするための製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 SAP Agent* (V13)	SAP DBA管理インタフェースと連携してSAPのデータベースをバックアップ・リストアするための製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Option (Data Protection Optimization 1TB) Special Edition* (V13)	バックアップデータをセグメント単位で管理し、重複しているデータを排除してバックアップデータを効率よく保存する重複排除機能などを使用する場合に、バックアップ対象データ容量1TBごとに必要な製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 NDMP Option* (V13)	NDMPサーバをバックアップ・リストア対象にするための製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Starter Pack (5 Client)* (V13)	JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Server、JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Drive Option（Library Based Tape Drive Support）、JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Standard Client Optionがパッケージになった製品です。
JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Platform Base* (V13)	フロントエンドデータ（バックアップ対象データ）容量を1TBまでバックアップ管理できる製品です。JP1/VERITAS NetBackup 10.3 Agent for HiRDB Licenseを除き、JP1/VERITAS NetBackup 10.3のすべての機能を使用できます。

* 日本限定販売

バックアップ

バックアップ管理(Windows環境向け)

JP1/VERITAS Backup Exec 22 * (V12)	1台のバックアップサーバ（メディアサーバ）を使用して、Windows環境またはLinux環境のデータをバックアップ管理する小規模システム向けの製品です。
JP1/VERITAS Backup Exec 22 Enterprise Server Option * (V12)	メディアサーバで、フルバックアップと増分バックアップから完全バックアップを合成したり、効率的にリストアを行うなどの高度なバックアップ運用を実現するために必要なオプションを使用するための製品です。
JP1/VERITAS Backup Exec 22 Agent for Windows Systems * (V12)	ネットワーク経由でWindows環境のデータをバックアップ・リストアするためのクライアントに必要な製品です。
JP1/VERITAS Backup Exec 22 Agent for Linux Systems * (V12)	ネットワーク経由でLinux環境のデータ（ユーザーデータのみ）をバックアップ・リストアするためのクライアントに必要な製品です。
JP1/VERITAS Backup Exec 22 Agent for VMware and Hyper-V * (V12)	VMware ESXi環境のvStorage APIs for DataProtection連携、Microsoft Hyper-V環境のVHDやVHDXファイル、Hyper-V固有の環境（設定情報など）をバックアップ・リストアするための製品です。
JP1/VERITAS Backup Exec 22 Agent for Applications and Databases * (V12)	Oracle、Microsoft SQL Server、またはExchange Serverのデータベースシステムをオンラインでバックアップ・リストアするための製品です。
JP1/VERITAS Backup Exec 22 Library Expansion Option * (V12)	2テープドライブ以上のロボットタイプテープ装置（ライブラリ、チェンジャー、オートローダ、仮想テープライブラリ（VTL）など）を使用するための製品です。
JP1/VERITAS Backup Exec 22 VTL Unlimited Drive Option * (V12)	2テープドライブ以上の仮想テープライブラリ（VTL）を使用するための製品です。仮想テープライブラリごとの適用で、仮想テープドライブ数を無制限で使用できます。
JP1/VERITAS Backup Exec 22 Deduplication Option * (V12)	メディアサーバでバックアップデータをセグメント単位で管理し、重複しているデータを排除してバックアップデータを効率よく保存するための製品です。
JP1/VERITAS Backup Exec 22 Media * (V12)	JP1/VERITAS Backup Exec 22のメディアキットです。

* 日本限定販売

エンドポイント管理

IT資産・配布管理

JP1/IT Desktop Management 2 - Manager (V13)	PCやサーバ、仮想デスクトップ、シンクライアント、スマートデバイスといった、多様化するIT環境のソフトウェア情報、ハードウェア情報、セキュリティ情報、操作ログなどの自動収集・一元管理で、IT資産を適切に管理しセキュリティリスクから守ります。
JP1/IT Desktop Management 2 - Additional License for Linux (V13)	LinuxのPCやサーバを管理対象とするときのJP1/IT Desktop Management 2 - Managerのエージェント製品です。
JP1/IT Desktop Management 2 - Additional License for UNIX (V12)	UNIXのPCやサーバを管理対象とするときのJP1/IT Desktop Management 2 - Managerのエージェント製品です。
JP1/IT Desktop Management 2 - Smart Device Manager (V12)	スマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスをPCやサーバと一緒に管理するための製品です。
JP1/IT Desktop Management 2 - Operations Director* (V13)	100台から300台程度の規模で、WindowsやMac OSのPC管理をしたいお客さま向けの製品です。
JP1/IT Desktop Management 2 - Operations Director to Standard Upgrade* (V13)	JP1/IT Desktop Management 2 - Operations DirectorからJP1/IT Desktop Management 2 - Managerへアップグレードするためのライセンス製品です。
JP1/Remote Control Manager* (V12)	ネットワークを経由して、遠隔地にあるPCの画面を遠隔操作（リモートコントロール）する製品です。
JP1/Remote Control Agent* (V12)	JP1/Remote Control Managerと接続するエージェント製品です。

セキュリティ

セキュリティ管理・情報漏えい防止

JP1/秘文 Server 基本ライセンス* (V13)	デバイス利用やネットワーク接続の制限により、企業内の機密データの漏えいを防止するための製品です。情報の持ち出しポリシーの設定やクライアントで取得した操作ログを一元管理します。
JP1/秘文 Server ファイルサーバライセンス* (V13)	ファイルサーバ上の共有フォルダの暗号化、およびアクセス制御をする製品です。
JP1/秘文 Device Control* (V13)	情報の持ち出しを制御するクライアント製品です。許可していないデバイス利用やネットワーク接続を制御することで、不正なデータの持ち出しによる情報漏えいを防ぎます。
JP1/秘文 Device Control Webアクセス・コピーログオプション* (V13)	Webブラウザの操作およびクリップボードの操作に対するログを取得するJP1/秘文 Device Controlのオプション製品です。
JP1/秘文 Data Encryption* (V13)	暗号化により、第三者による情報の不正利用を防止するクライアント製品です。万一、情報の紛失や盗難、誤送信が起きた場合でも、パスワードを知らない第三者による解読を防ぎます。
JP1/秘文 Data Protection* (V12)	ファイルの参照以外の操作を禁止することで、ファイルの二次利用を防止する製品です。

* 日本限定販売

運用統合

運用統合

JP1 Cloud Service/Operations Integration*

オンプレミスとマルチクラウドのハイブリッド環境における統合的な運用管理を実現するサービスです。システム横断で『運用の標準化』と『運用要員の共有化』を促進し、『運用の統制』も図れます。

オートメーション

ジョブ管理

JP1 Cloud Service/Job Management*

JP1/Automatic Job Management System 3 - Managerの機能をSaaSで提供するサービスです。業務フローの開発や実行を効率化・省力化し、ハイブリッドクラウド、マルチクラウドなど、さまざまな環境における業務システムの自動運用と安定稼働を実現します。

ジョブ分析

JP1 Cloud Service/Job Analysis*

日立の運用経験とノウハウを活用してジョブ運用の実績データを効率よく分析して可視化するサービスです。ジョブ運用状況の問題点の特定と改善策の提示により安定したジョブ運用を実現します。

オブザーバビリティ

システム管理

JP1 Cloud Service/System Management*

JP1/Integrated Management 3 - Managerの機能をSaaSで提供するサービスです。サービスやシステムを監視・関連性を統合管理することでオブザーバビリティを実現し、システム・ビジネスの健全性の把握など、利用者に応じた情報の提供・活用を支援します。

通報

通報管理

JP1 Cloud Service/Notification Management*

システムの異常発生を、適切な通知先・通知手段で通報し、迅速な対処を支援するサービスです。通知先情報・通知手段の一元管理による通知運用の効率化も図れます。

エンドポイント管理

エンドポイント管理

JP1 Cloud Service/Endpoint Management*

JP1/IT Desktop Management 2 - ManagerとJP1/秘文 Device Controlの機能をSaaSで提供するサービスです。PCやサーバ、仮想デスクトップ、シンクライアント、スマートデバイスといった、多様化するIT環境のソフトウェア情報、ハードウェア情報、セキュリティ情報、操作ログなどの自動収集・一元管理で、エンドポイントを適切に管理しセキュリティリスクから守ります。

* 日本限定販売

デジタルワークフロー

デジタルワークフロー

ServiceNow*

ServiceNowの各種アプリケーションを組み合わせ、業務プロセスの標準化と最適化を実現します。デジタル技術でビジネスの変革を推進し、組織の生産性やサービス品質の向上を促進します。

* 日本限定販売

他社商品名、商標等の引用に関する表示

TMEng.dllの著作権、特許権または商標権等の知的財産権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。

- AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。
- Amazon Web Services、AWS、Powered by AWS ロゴ、Amazon DynamoDB、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)、Amazon Simple Queue Service (SQS)、Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)、AWS Lambda は、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
- Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。
- DockerおよびDockerロゴは、Docker Inc. の米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac は、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Microsoft、Azure、Excel、Hyper-V、Microsoft Intune、Microsoft Teams、SQL Server、および Windows は、マイクロソフト 企業グループの商標です。
- Oracle®、Java、MySQLおよびNetSuiteは、Oracle、その子会社および関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- SAP、SAP S/4HANA Cloudは、ドイツおよびその他の国におけるSAP SEまたはその関連会社の商標または登録商標です。
- ServiceNow、ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc.の商標または登録商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Veritas、Veritas ロゴ、Backup Exec、および NetBackup は、米国およびその他の国における Veritas Technologies LLC またはその関連会社の商標または登録商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

- 記載の仕様は、改良などのため予告なく変更することがあります。
- 掲載している画面イメージは、実際の画面の色調とは異なる場合があります。
- 掲載している単位表記は、1KB（キロバイト）= 1,024バイト、1MB（メガバイト）= 1,048,576バイト、1GB（ギガバイト）= 1,073,741,824バイト、1TB（テラバイト）= 1,099,511,627,776バイトです。
- 輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
- 動作環境や対応状況については、JP1 Webサイトで最新情報をご確認ください。
- JP1 V12製品は、2026年9月末で販売を終了し、2034年9月末でサポートを終了します。

製品・サービスに関する詳細・お問い合わせは下記へ

■ JP1 Webサイト

<https://www.hitachi.co.jp/jp1/>（日本語）
<https://www.hitachi.co.jp/jp1-e/>（English）

■ インターネットでのお問い合わせ

<https://www.hitachi.co.jp/soft/ask/>

■ 電話でのお問い合わせはHCAセンターへ

 **0120-55-0504**

受付時間 9：00～12：00、13：00～17：00（土・日・祝日・当社休日を除く）

統合システム運用管理

HITACHI
Inspire the Next

未来へ進むなら

JP1

JP1

JP1 Cloud Service
IT運用最適化サービス

